

平成25年度

事業計画書

公益財団法人 静岡市文化振興財団

平成25年度公益財団法人静岡市文化振興財団事業計画

平成25年4月 1日から

平成26年3月31日まで

I 法人の目的（定款第4条）

当法人は、演劇、舞踏、美術、音楽、科学、生涯学習等の文化振興に関する事業を行い、市民が各種文化に触れる環境の整備と市民自身による文化創造活動を促進し、もって魅力ある静岡文化の創造、継承、発信に寄与することを目的とする。

II 事業の方針

当法人では、法人の目的を自主的、主体的に達成していくため、「基本理念」及び「基本方針」を独自に策定し、各種事業の実施に取り組んでいる。この「基本理念」は、法人目的達成のための手段として実施する各種文化事業の基幹となる概念であり、その「基本理念」を具現化するために必要と考えられる様々な方策から共通概念を抽出し、それらを端的に表したものが「5つの基本方針」である。

また、より実効性のある事業を中長期的な視点により展開していくため、「平成23-27年度中期事業戦略」を策定し、当法人が5年間というスパンで取り組むべき「4つの戦略」を定め、それぞれの戦略ごとに「達成目標」及び戦略を実現するための「具体的な方策」を明示し、これらを軸とした事業展開に努めている。

【基本理念】

「魅力ある静岡文化の継承、創造、発展に寄与する」

【5つの基本方針】

「協働」： 市民とともに

「事業」： 感動を生み出す

「育成」： とともに学び、育つ

「環境」： 文化活動をしやすい環境整備

「情報」： 文化情報の拠点

【中期事業戦略】

「戦略1 市民から信頼される文化振興の専門機関として」

「戦略2 連携の推進」

「戦略3 事業の質の安定と向上」

「戦略4 事業継続のための資金の確保」

Ⅲ 事業（定款第5条）

当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 文化に関する講座、セミナー及びシンポジウム
- (2) 文化に関する体験活動
- (3) 文化に関する相談及び助言
- (4) 文化に関する調査研究及び資料収集
- (5) ミュージアム等における展示事業
- (6) 文化に関する助成
- (7) 文化に関する表彰及びコンクール
- (8) 文化に関する公演
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

■ 公益目的事業

当法人が実施する事業は、文化施設4施設（静岡市民文化会館、静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館）、生涯学習センター11施設（葵生涯学習センター、西部生涯学習センター、南部生涯学習センター、東部生涯学習センター、長田生涯学習センター、北部生涯学習センター、藁科生涯学習センター、大里生涯学習センター、西奈生涯学習センター、駿河生涯学習センター、美和生涯学習センター）、静岡市南部勤労者福祉センター及び静岡市小鹿老人福祉センターの合計17施設を主な活動拠点として実施しており、各々特徴ある文化事業を実施している。これら全ての施設については、各種講座やコンサート等の文化事業を実施する方策として、当法人が静岡市から指定管理者としての指定を獲得し、運営に当たっている。

また、市民ギャラリー、中勘助文学記念館、旧マッケンジー住宅及び清水文化会館についても、同様の理由に基づき、静岡市等から運営業務を受託し、事業を実施しているものである。

これらの事業はすべて定款に掲げる法人目的を達成するために実施するものであるため、公益目的事業として一括している。

なお、当法人が実施する事業細目は以下のとおりである。

1 文化活動振興事業

- (1) 文化鑑賞事業
 - ア 「Hotひといきコンサート」の開催
 - イ 「オーケストラ鑑賞事業」の開催
 - ウ 「竹久夢二展」等の開催
- (2) 普及啓発事業
 - ア 伝統芸能ワークショップ「伝統文化寺子屋」等の開催

- (3) 市民の自発的な文化活動促進事業
 - ア 「市民文芸」の募集及び文芸誌の発行
 - イ 「静岡市民芸能発表会」の開催
- (4) 調査研究事業
 - ア 市が所蔵する美術収蔵品の調査と維持
 - イ 中勘助文学資料の調査研究等

2 文化情報事業

- (1) 普及啓発事業
 - ア 静岡文化情報「街かど」の発行
 - イ 静岡文化情報誌「しずおかイベントニュース」の発行

3 文化活動助成事業

- (1) 市民の自発的な文化活動促進事業
 - ア 市民の文化振興事業に対する助成金の交付
- (2) 支援育成事業
 - ア 「ストリート・フェスティバル・イン・シズオカ」への開催支援

4 中勘助文学記念館事業

- (1) 文化鑑賞事業
 - ア 朗読会、コンサート等の実施
- (2) 普及啓発事業
 - ア 文学講演会等の実施

5 旧マッケンジー住宅事業

- (1) 文化鑑賞事業
 - ア 読み聞かせ会、コンサート等の実施
- (2) 普及啓発事業
 - ア 講演会、講座等の実施

6 静岡市民ギャラリー事業

- (1) 文化鑑賞事業
 - ア 市民との共同による展覧会の実施

7 静岡市民文化会館事業

- (1) 文化鑑賞事業
 - ア 魅力ある鑑賞事業の開催
 - イ 交流機会促進のための「ロビーコンサート」等の開催

- ウ 交流機会促進のための「美術展」等の開催
- (2) 普及啓発事業
 - ア 聴講型普及事業-「歌舞伎講演会」の開催
 - イ 聴講型普及事業-「アートマネジメントセミナー」の開催
 - ウ 体験型普及事業-体験型ワークショップ、講座等の実施

8 静岡音楽館事業

- (1) 文化鑑賞事業
 - ア コンサートシリーズの開催-国内外の一流演奏家たちによるコンサートの開催
 - イ コンサートシリーズの開催-「AOI・レジデンス・クワルテット」の開催
 - ウ コンサートシリーズの開催-「アマチュア・アンサンブルの日」の開催
 - エ コンサートシリーズの開催-「『静岡の名手たち』オーディション合格者によるコンサート」の開催
- (2) 普及啓発事業
 - ア 各種音楽関連講座、講演会の実施
 - イ 「子どものための音楽ひろば」の開催
 - ウ 「どこでもAOI『野平一郎ピアノ・ミニコンサート』」の開催
 - エ 「校内音楽会」の開催
- (3) 支援育成事業
 - ア 「静岡の名手たち」オーディションの開催
 - イ 「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業の実施
 - ウ 「ピアノ伴奏法講座」の開催
 - エ 「静岡リコーダー・アンサンブル・コンテスト」への開催支援

9 静岡科学館事業

- (1) 普及啓発事業
 - ア 聴講型普及事業の実施-「サイエンスカフェ」、「先端科学者講演会」等
 - イ 体験型普及事業の実施-「展示物運營業務」、「サイエンスショー」、「テーブルサイエンス」、「科学工作」等
 - ウ 展示事業の実施-「企画展」
 - エ 科学技術文化普及のためのイベント等の実施-「サイエンス・フェスティバル」等
 - オ 科学技術文化普及のための共催事業の実施-「静岡県学生児童発明くふう展」等
 - カ 「子ども環境デーフェスタ!エコキッズ」の共催
- (2) 支援育成事業
 - ア 科学技術文化の担い手育成・活用事業の実施-「科学コミュニケーター育成講座」等
 - イ 未来の科学者育成事業の実施-「科学の広場inる・く・る」、「キッズミーティング」、「理数大好き教室」等
 - ウ 「自由研究相談会」の実施

エ 科学活動支援及び人材育成のための共催事業の実施－「静岡県高校生ロボット競技大会」等

(3) 連携推進事業

ア 連携による聴講型普及事業の実施－「リアルサイエンスマイスター講座」、「科学遊びワークショップ」等

イ 連携による体験型普及事業－「科学館学習」、「移動科学館」、「教員のための博物館の日」等

ウ 「しずおか科学技術月間」の実施

エ 「理数学習新教材教具体験フェア」の開催

オ 「川自慢大賞」の実施

カ 「サイエンスピクニック」の実施

10 静岡市生涯学習センター事業

(1) 市民の自発的な文化活動促進事業

ア 「生涯学習センターまつり」の実施

イ 展示事業の実施

(2) 普及啓発事業

ア 講座、講演会等の実施

(3) 支援育成事業

ア サークル育成、まちづくりを推進するための人材育成

11 静岡市南部勤労者福祉センター事業

(1) 市民の自発的な文化活動促進事業

ア 「来・て・こ健康スポーツ体験まつり」の実施

(2) 普及啓発事業

ア 講座、講演会等の実施

12 静岡市小鹿老人福祉センター事業

(1) 市民の自発的な文化活動促進事業

ア 「同好会活動発表会」の実施

イ 「同好会作品展示」の実施

(2) 普及啓発事業

ア 講座、講演会等の実施

13 静岡市美術館事業

(1) 文化鑑賞事業

ア 展覧会の実施

(2) 普及啓発事業

- ア 聴講型普及事業-講演会等の実施
- イ 体験型普及事業-ワークショップ等の実施
- (3) 調査研究事業
 - ア 調査研究、情報収集の実施

14 静岡市清水文化会館事業

- (1) 文化鑑賞事業
 - ア 魅力ある鑑賞事業の開催
 - イ 展示事業の実施

15 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業

- (1) 普及啓発事業
 - ア 講演会シリーズ等の実施

■ 収益事業

1 公益目的で実施しているミュージアムショップ、自動販売機設置及びCD頒布

- (1) ミュージアムショップの設置
- (2) 清涼飲料水等の自動販売機の設置
- (3) オリジナルCDの頒布

2 公益目的で実施している利用料金徴収事務

■事業計画 付属明細書

(文化活動振興事業)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	Hotひといきコンサート	市民の音楽に対する理解、関心を高める。	市庁舎等公共のコミュニティー空間を会場とし、高質な生演奏を鑑賞する機会を提供する。	通年
2	静岡市民文芸	市民の文芸活動発表の場として機能することで、日々の文芸活動の充実を図る一助とする。	市民の文芸振興を図るための市民からの投稿による文芸コンクールと文芸誌の発行。	5月～1月
3	静岡市民芸能発表会	市民が日頃行っている芸能活動発表の場として機能することで、日々の芸能活動の充実を図る一助とする。	市民の芸能活動の発表機会を提供するための日舞・ダンス等芸能活動の発表会。	12月
4	平成25年度伝統芸能ワークショップ	伝統芸能を楽しむポイントを体験を通じて伝え、参加者が伝統芸能に興味を持って接することができるようになる。	子供を中心とした市民に伝統芸能に触れる機会を提供するワークショップ。	8月
5	オーケストラ鑑賞事業	子どもたちが質の高い音楽を身近に感じる機会を提供する。	地元オーケストラなどによるオーケストラ音楽の鑑賞会を開催する。	9月
6	竹久夢二展・市収蔵美術品展	市が所蔵する竹久夢二作品及び平野富山寄贈作品等をより多くの市民に見ていただく。	蒲原・旧五十嵐邸における竹久夢二展を年1回開催する。また、清水文化会館にて平野富山寄贈作品等の展示及び展示替えを行う。	4月、年間
7	市収蔵美術品調査補助	静岡市の美術収蔵品の適切な維持を図る。	市が所蔵する美術品の調査研究を行う。	通年
8	文芸推進事業	静岡市における文芸活動の振興を図る。	有識者による、文芸活動のあり方に関する顕彰を行う。	1月

(文化情報事業)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	静岡文化情報誌「しずおかイベントニュース」発行	事業・イベント情報を情報誌にして市内に配布することで市民にイベント情報を得る機会を作り、文化活動を促す。	財団及び財団管理施設の事業・イベント情報誌を発行する（毎月発行、各7,000部）。	通年 (全12回)

(文化活動助成事業)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	文化活動事業費助成事業	市民の文化活動の推進・活性化を図る。	公共性のある文化振興事業を実施する個人または団体に対し、助成金を交付する。	通年
2	ストリートフェスティバル・イン・シズオカ実行委員会支援	実行委員会による自主運営に向けた方策の模索等を行い、独立した市民活動の成立を目指す。	ストリートフェスティバルを独力で実施できるよう実行委員会を支援。	11月

(中勘助文学記念館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	中勘助文学記念館顕彰事業	中勘助文学及び中勘助文学記念館についての周知を図り、市民による文学活動の促進の一助とする。	中勘助文学を題材とした文学講演会等の事業。	12月

(旧マッケンジー住宅)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	旧マッケンジー住宅顕彰事業	旧マッケンジー邸の周知と、マッケンジー夫人の功績の顕彰することで、市民の文化財に対する理解を深める。	旧マッケンジー邸を会場とし、施設の周知及び顕彰を兼ねた講演会等文化事業。	10月

(市民ギャラリー)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	市民ギャラリーPR事業	市民ギャラリーの存在を市民に広く周知することで、市民の文化活動の環境整備の一助とする。	市民団体との共催により、市民ギャラリーのPRを兼ねた絵画展を行う。	10～11月

(静岡市民文化会館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	松竹大歌舞伎	直に触れる機会の少ない、歌舞伎の公演を行い、日本文化の良さを再認識する。	日本の伝統芸能である歌舞伎の公演を行う。	7/20 (全2回)
2	ロビーコンサート	公募アーティストと招待アーティストによるコンサートを定期的に行う事により、館の周知とアーティストの交流を図る。	1階ロビーにて公募アーティスト・招待アーティストのコンサートを行う。	6月、10月 12月、3月 (全4回)
3	エスパルスミュージカル	市民公募脚本・役者・ダンサーによるダンスミュージカル公演を実施することにより、舞台芸術文化向上に寄与する。	市民球団エスパルスをテーマに、市民参加によるミュージカルを実施する。	7/6～7/7 (全2回)
4	コミュニティダンスプロジェクト	市民公演・ワークショップ・アウトリーチを実施し、気軽に身体表現に触れるきっかけを作り、表現の喜びを提供する。	「全ての人にダンスを」をテーマに市民公演・各種ワークショップ等を実施する。	通年 (全1回)
5	静岡市民文化会館35年展	35年の資料を整理・編纂・展示することにより、文化会館の実績をまとめ、市民に周知する。	開館から現在までの市民文化会館の歩みと実績を検証し、展示する。	2月 (全1回)
6	劇団四季ワークショップ	劇団四季によるワークショップを実施することにより、日本随一の芸術文化に触れ、舞台芸術の理解を深める。	劇団四季の役者・美術スタッフによるワークショップを実施する。	9月～10月 (全1回)
7	歌舞伎事前講演会	なじみにくい歌舞伎の演目と魅力の開設講演会を実施し、歌舞伎公演の理解と集客の一助とする。	歌舞伎の演目と魅力をを解り易く解説する講演会を実施する。	5月 (全3回)
8	避難訓練コンサート	地域住民の防災意識向上と、スタッフの避難誘導技術向上を目的として、大ホールコンサート中に避難訓練を行う。	消防音楽隊を招聘し、実際にコンサートを行い、その最中に避難訓練を行う。	2月 (全1回)

(静岡音楽館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	アンサンブル・アンテルコン タンポラン	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（海外からのアーティストの積極的な招聘）。	世界最高峰の現代音楽アンサンブルによるコンサート。	5月 (全1回)
2	ユーリ・バシュメット&モスクワ・ソロイツ合奏団 with 樫本大進	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（海外からのアーティストの積極的な招聘）。	世界的なヴィオラ奏者を中心とするアンサンブルに日本を代表するヴァイオリン奏者をゲストに迎える。	6月 (全1回)
3	クレメンス・ハーゲン 河村 尚子 デュオ・リサイタル	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（質の高い事業の推進）。	世界的なチェロ奏者と日本を代表するピアニストの共演。	6月 (全1回)
4	ランチタイム・コンサート 望月哲也 福田進一「イギリスのうた」	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（質の高い事業の推進）。	日本を代表するテノール歌手とギタリストによるシューベルトや日本の歌曲などのランチタイム・コンサート。	7月 (全1回)
5	子どものためのコンサート ノズルズの不思議な世界と、 さまざまなフルートたち	子どもたちが本物の芸術に触れる機会の創出。	フルート四重奏によるユニークでクリエイティブな子どものためのコンサート。	8月 (全1回)
6	第18回「静岡の名手たち」 オーディション合格者による コンサート	発表の機会の提供による地域の音楽家の支援。	オーディションによって選ばれた地域の音楽家を紹介。	9月 (全1回)
7	JAZZ LIVE 山中千尋 ニューヨーク・トリオ	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（質の高い事業の推進）。	ニューヨーク在住のジャズ・ピアニストを中心としたトリオのライブ。	9月 (全1回)
8	アンサンブル・ウィーン＝ベルリン	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（海外からのアーティストの積極的な招聘）。	ウィーン・フィルとベルリン・フィルのトップ奏者を中心とした木管五重奏のコンサート	10月 (全1回)
9	第3回 アマチュア・アンサンブルの日♪	地域のアマチュア演奏家への発表の機会の提供（特色ある事業の実施）。	静岡のアマチュア・アンサンブルが無審査で多数出演、9時間にもおよぶコンサート。	10月 (全1回)
10	萩原麻未の室内楽	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（質の高い事業の推進）。	注目を集める若いピアニストを中心に、ベテランの演奏家たちが共演するコンサート。	10月 (全1回)
11	AOI・レジデンス・クワル テット with 高木綾子	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（質の高い事業の推進）。	静岡音楽館AOI専属弦楽四重奏団によるコンサート。	11月 (全1回)
12	世界遺産 奥州平泉・毛越寺の法会	伝統芸能や民族芸能に触れる機会の充実、伝統文化に対する意識の向上。	世界遺産・平泉の古刹・毛越寺に伝わる舞と聲明を紹介。2011年4月に計画されたが東日本大震災により中止。	11月 (全1回)
13	ランチタイム・コンサート 新春 西陽子 箏リサイタル	伝統芸能や民族芸能に触れる機会の充実、伝統文化に対する意識の向上。	気鋭の箏奏者による古典から現代までの作品を採り入れたランチタイム・コンサート。	1月 (全1回)
14	中村絃子 ピアノ・リサイタル	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（質の高い事業の推進）。	日本を代表するピアニストによるリサイタル。	1月 (全1回)
15	東京混声合唱団 「日本のうた」	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（質の高い事業の推進）。	日本の数少ないプロの合唱団によるコンサート。静岡大学混声合唱団が共演。イギリスの作曲家への委託作品の初演含む。	2月 (全1回)
16	藤村実穂子 メゾソプラノ・リサイタル	優れた音楽芸術の鑑賞の機会の提供（質の高い事業の推進）。	世界的に活躍する日本のメゾソプラノ歌手によるリサイタル。	3月 (全1回)
17	関連講演会－1	コンサートシリーズに対する理解を深める。	コンサートシリーズに関連した講演会。	未定 (全1回)
18	関連講演会－2	コンサートシリーズに対する理解を深める。	コンサートシリーズに関連した講演会。	未定 (全1回)
19	関連講演会－3	コンサートシリーズに対する理解を深める。	コンサートシリーズに関連した講演会。	未定 (全1回)
20	コンサート企画募集事業（審査）	地域の音楽家の支援。	次年度に実施する「企画募集」事業を募集し、静岡音楽館AOI芸術監督および企画会議委員が審査する。	6月 (全1回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	第14回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業 中川紫音 帰国記念 オルガン・リサイタル	地域の音楽家の支援。	平成25年度の募集・審査において採択された事業。過去に「静岡の名手たち」にも合格したオルガン奏者のリサイタル。	4月 (全1回)
22	第14回「静岡音楽館AOIコンサート企画募集」事業 Ensemble Feuilles Verts・Trio Concert in 静岡 フルートとオーボエ～清新な響き～	地域の音楽家の支援。	平成25年度の募集、審査において採択された事業。フルート、オーボエ、ピアノによるアンサンブル。	10月 (全1回)
23	第15期「子どものための音楽ひろば」	音楽を中心とした総合的な体験により、子どもたちの豊かな感性を養う（特色ある事業の実施）。	音あそび、リズムあそび、合唱、体操、コンサートの鑑賞など全25回の講座を実施。	年間 (全24回)
24	第8期 ピアニストのためのアンサンブル講座	プロフェッショナルな芸術家の育成と地域の音楽家への啓発（特色ある事業の実施）。	全国から受講生を募集し、「アンサンブルができるピアニスト」を養成する。	年間 (全10回)
25	第18回「静岡の名手たち」(オーディション)	地域の新しい人材の発掘。	静岡の音楽家たちにとって登竜門的な存在のオーディション。	5月 (全1回)
26	「静岡の名手たち」支援・育成事業	「静岡の名手たち」合格者を支援・育成しながらクラシック音楽の鑑賞の機会を提供。	「静岡の名手たち」合格者が静岡音楽館AOI以外のコンサートに出演。	未定 (全1回)
27	静岡・室内楽フェスティバル2013	文化活動拠点のネットワーク化を図り、都市空間を活かした事業の実施により街かどの芸術空間を創出。	静岡音楽館AOIほか市街地を中心に多くの室内楽のコンサートを集中的に展開。	10月 (全1回)
28	どこでもAOI 野平一郎ピアノ・ミニコンサート	教育機関との連携による青少年の文化活動の推進。	静岡市内の小・中学校で静岡音楽館AOI芸術監督がピアノを演奏。	未定 (全1回)
29	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業	音楽、科学、美術の境界を超え、総合的な文化空間を創造する。	展覧会に関連するコンサートや文化についてのさまざまな講演会など。	未定 (全1回)
30	生涯学習センター×静岡音楽館AOI 連携事業	生涯学習施設を地域における文化普及の拠点とした連携事業。	「静岡の名手たち」合格者によるコンサートや、静岡音楽館AOI学芸員による講演会など。	年間 (全1回)
31	オルガン¥500コンサート マリア暮林美歌里	静岡音楽館AOIのオルガンを活用し、より親しみやすい事業を展開する。	オルガンのコンサートを低料金で提供。	8月 (全1回)
32	オルガン¥500コンサート 大木麻理	静岡音楽館AOIのオルガンを活用し、より親しみやすい事業を展開する。	オルガンのコンサートを低料金で提供。	12月 (全1回)
33	“この1曲”をとことん語る	コンサートシリーズで演奏される曲目について静岡音楽館AOI学芸員が解説。	コンサートシリーズに対する理解を深める。対する理解を深める。	4月、5月、9月、10月 (全4回)
34	第40回静岡リコーダー・アンサンブル・コンテスト	静岡リコーダー教育研究会との共催。金賞受賞者のなかから全日本リコーダー・コンテスト(全国大会)の出場者が選抜される。	発表の機会の提供、および、市民と一体となった文化事業の推進。	1月 (全1回)
35	特別支援学校・学級の子どもの見学会	静岡市および近隣の特別支援学校・学級の子どものために施設を案内、オルガンのデモンストレーションなどを、	ハンディキャップを持つ子どもたちが静岡音楽館AOIの存在を享受できる機会を設ける。	未定 (全2回)
36	CD「野平一郎 plays 平均律クラヴィーア曲集」「松谷卓ピアノ・リサイタル デビュー！」の販売	静岡音楽館AOIが制作したCDを販売。	CD等により音楽の鑑賞機会を提供、「しずおか文化」を積極的に発信。	通年 (全2回)

(静岡科学館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	サイエンスショー	ショー的要素を充実させ、参加型のショーとすることで、市民に日常生活の中での科学・技術について興味・関心を持たせる。	大型実験の演示とコメントを通して、身近な事象や事象に含まれる科学的な要素を紹介・解説する。	4月～3月 (全20回)
2	テーブルサイエンス	科学的な要素を含む題材を中心に、実験や対話を通して子どもの科学への興味・関心を高め、科学的な事象に対する見方・考え方を養う。	体験ステージにて月ごとのテーマに沿った実験を行う。スタッフの会話を重視した実験を行う。	4月～3月 (全20回)
3	わくわく科学工作	科学的な要素を含み、かつ手軽に体験できる工作プログラムを立案し、ものづくりや科学遊びを通じて市民に科学の楽しさを提供する。	手軽に加工できる材料を使い、しくみや機能に科学的要素を取り入れ、月ごとのテーマに沿った工作プログラムを実施。	4月～3月 (全20回)
4	サイエンス玉手箱	幅広い分野の出展者による科学実験・観察や科学工作などの体験を通して、参加者の科学への興味・関心を広げる。	教員や科学愛好家などの市民が、市民に科学の不思議さ、楽しさ、面白さを体験するワークショップを行う。	4月～3月 (全20回)
5	る・く・るワークショップ	当館職員の得意分野における知見等を活かして体験プログラムを企画・提供し、市民に科学への興味・関心を深めてもらう。	自由参加形式のワークショップとし、プログラムに応じて館内の適所を会場として実施する。	4月～3月 (全10回)
6	カプラ事業	カプラ（積み木）による創作を通して、市民の造形に対する興味・関心を育成し、創造力や思考力を高める。	カプラを常設するとともに、その基本的な技能を教えるワークショップや、造形大会を実施する。	学校長期休業 期間（60日間 程度） (全3回)
7	カプラチャンピオンシップ	カプラ（積み木）による創作を通して、市民の造形に対する興味・関心を育成し、創造力や思考力を高める。	設定されたテーマに沿ってどれだけ魅力的な造形ができるかチームごとに競う大会とその作品を公開する。	8月
8	る・く・るサイエンスランド	ゴールデンウィーク時の入館者数増大に対応するとともに、親子連れを主たる対象とし多様な科学あそびの場を提供する。	カプラを中心としたブロックなどを使用したあそびの広場を常時開催する。サイエンスショーや工作等を行い、科学づくりのGWとなるよう展開する。	4月～5月 (12日間)
9	プレミアムサイエンスショー	質の高いサイエンスショーの展開により、市民の科学への興味・関心を高めるとともに、教員研修の場とし、授業力向上を図る。	全国で活躍する講師を招聘し、イベントホールにて、160名程度を対象に大型実験ショーを行う。	5月～3月 (全4回)
10	サイエンスフェスティバルin る・く・る2013 (共催：青少年のための科学の祭典静岡大会実行委員会)	実験・観察、科学的な工作等を通し、科学の不思議さや楽しさを実感することにより思考力に富み創造性豊かな青少年の育成を図る。	民間・企業・教育機関などから、さまざまな科学分野に関する体験ブースの出展を受け入れ、盛大な科学イベントとして実施する。	8月 (4日間)
11	る・く・る自然観察会 (共催：静岡県自然観察指導員会中部支部)	野外で自然や生物のようすを直接観察する機会を提供し、身近な環境への市民の関心の高まりを促す。	県自然観察指導員会中部支部の協力を得て、市街地周辺の水辺や公園などへ出向いて、各回のテーマに沿って自然観察を行う。	5月～3月 (5日間) (全5回)
12	サイエンスマスターレベル7 認定式	子どもたちの科学に親しみ、学び続ける心を育て、科学的文化の醸成を目指す。	認定式の実施および認定証の授与、記念品の贈呈。	7月、11月 (全2回)
13	第11回しずおか「夢」デザインコンテスト2013作品展 (共催：しずおか夢デザインコンテスト実行委員会)	市民の創造力を高め、ものづくりに対する興味・関心を広げる。	「こんなものがあつたらいいなと考える」アイデアを募集し、特別賞を受賞した試作品とともに応募作品を展示。	5月～6月 (14日間)
14	第38回静岡県児童生徒木工工作コンクール作品展 (共催：静岡県木材青壮年団体連合会)	木工工作への興味・関心を高め、ものづくりへの意識向上を図る。	静岡県内より出品された児童・生徒の木工作品を展示するとともに、簡単なものづくり教室を行う。	10月 (8日間)
15	ETロボコンフェスタin静岡 2013 (共催：静岡ETロボコンフェスタ実行委員会・静岡産業技術専門学校)	市民のロボット工学への興味・関心を高め、生活の中での意識の向上を目指す。	東海大会にエントリーしたチームによるETロボコン大会やロボットにかかわるレクチャー。	10月
16	しずおか環境を学ぶ会 (共催：静岡県立大学 環境科学研究所 環静会)	市民がより専門的な科学研究の一端にふれる機会を設けることで、科学への興味関心・態度の拡大を図る。	実高度な科学の知識に触れることのできる実験等を、静岡県立大学環境科学研究所と共催で実施。	6月
17	JSAE中部キッズ・モノづくりワンダーランド (共催：公益社団法人自動車技術会中部支部)	自動車技術会中部支部の社会貢献活動として、地元の子どもたちに「自動車を支えるモノづくり」という視点で、「ものづくり」の体験機会を提供する。	モノづくり体験教室「ウィンドカー」・中部支部会員会社の製品展示・小型エンジンの分解、組立体験・学生フォーミュラカー展示。	9月
18	みらい子育てネット静岡市 ワークショップ (共催：みらい子育てネット静岡市)	市民に科学に関わる情報を伝えるとともに、簡単な実験・工作により市民の科学への興味・関心を広げる。	みらい子育てネット静岡市による子ども向け工作等のワークショップ。	8月

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
19	ガールスカウト展（共催：（一社）ガールスカウト静岡県連盟）	子どもに関わる人々のネットワークを広げるとともに、市民の科学への興味・関心を育てる。	ガールスカウト各団により、科学的な要素を含む簡単な工作や遊びをブース展開する。	12月
20	バンブータウン〜竹であそぼう（共催：NPO法人まちなびや）	身近な自然の素材等を使った工作や実験を体験し、子どもの科学への興味・関心を育てる。	市街地にある自然豊かなフィールドの紹介として、谷津山の自然・歴史文化の魅力と、その現状・課題を伝える。	3月 (7日間)
21	静岡県中学生創造ものづくり教育フェア（共催：静岡県教育研究会技術・家庭科教育研究部）	身近な自然に親しみ自然の素晴らしさを体感するとともに、体験を通して子どもの科学への興味・関心を育てる。	「木工の技」部門、「ロボットコンテスト」部門の県大会の様子を市民公開する。	11月
22	科学教室（天文）	子どもの科学的探究心を伸ばし、思考力を育成する。	専門の講師や当館のスタッフにより市民に質が高く充実した内容の、教室系の実験・観察・工作を提供する。	8月、9月 (全2回)
23	科学教室（小さな科学者）	実験や観察、工作を交えた教室を行い、科学に対する知識・関心を深める。	経験が豊富な地域の学校教員と協力し、良質な体験型・学習型の学習活動の実施。	4月、10月 (全2回)
24	科学教室（幼児教育）	幼児を保護者とともに迎え、科学に関する不思議や、身近なところに存在する面白さなどへの気付きを促す。	家庭で入手可能な材料やテーマを使った、体験を中心とした親子教室。	6月、9月 (全2回)
25	科学教室（科学館連携）	県内の科学施設と連携し、より専門的な科学教室を行うとともに、各施設の周知を図る。	ディスカバリーパーク焼津の持つ天文に関する施設やプログラムと、当館の培ってきた科学普及に関するプログラムの複合的な内容の科学教室の実施。	1月 (2日間) (全2回)
26	展示業務	時事ニュースや、館の行事情報だけでなく、他団体との連携による展示を実施することにより、情報提供の拡充を図る。	科学分野に関連した情報、時事ニュースなどを、パネルや標本などを使って市民に幅広く紹介する。	随時 (全5回)
27	企画展	市民の科学に対する興味・関心を広げるとともに、より深い専門的な知識獲得や思考力伸長を目指す。	テーマを定め、大規模な体験型の展示を長期間行う。	1月〜2月 (32日間)
28	キッズでんき教室（共催：（一財）中部電気保安協会静岡事業所）	社会や生活において科学が使われていることを実感し、科学に関わる興味・関心・態度を育成する。	電気を正しく使うための知識を伝えるとともに、簡単な電池の製作実験を行う。	8月
29	サイエンス・ナビゲーター事業	当館事業・運営への市民参加（市民参画）を促すための手立てとし、サイエンスコミュニケーションターとして活動の場を広げていけるよう支援する。	①展示物支援 ②「わくわく科学工作」支援 ③科学イベント支援 ④各種教室支援	随時
30	サイエンス・ナビゲーター全体研修会	講演会やワークショップ、他館との交流を通して、科学館ボランティアの、事業運営やコミュニケーション活動、接客等にかかわるスキルアップを図る。	科学館ボランティア（サイエンス・ナビゲーター）のスキルアップに必要な各種情報を提供する。	5月、10月 (全2回)
31	おもしろ科学フェスティバル	科学館ボランティアの有志が自ら事業の企画・運営を体験することを通して、必要なスキルを身に付け、活動の拠点を拡充を図る。	科学館ボランティア（サイエンス・ナビゲーター）が企画・運営をする科学イベント。来場者に対して多様な科学実験や工作の体験を提供する。	3月
32	科学遊びワークショップ	幼稚園教諭及び保育士や学校関係者が科学への興味・関心をより深め、子どもの科学的な思考力や感性を育てる指導力を身につける。	幼児教育や科学普及活動に携わる市民を対象に、幼児期につけさせたいサイエンスリテラシーに関する講義を行う。	年2回 (全2回)
33	自由研究相談会	子どもの自由研究の取り組みを支援することにより、科学的探究力の向上を図る。	イベントホールでの自由研究の進め方ワークショップや、図書コーナーでの自由研究に関する個別指導。	8月 (全7回)
34	しずおかサイエンスアドベンチャー（共催：静岡サイエンスミュージアム研究会）	自然や施設での体験活動を通して、身近な自然のすばらしさを実感し、科学的な興味・関心・態度を育成する。	水生生物の観察採集、動物園ウォッチング、実験等、静岡科学館を中心に静岡市内の施設で科学的探究活動を行う。	5月〜2月 (全9回)
35	理数大好き教室	言語活動の充実を高めるために自由研究論文を手段として用い、完成させる過程で、児童・生徒の探究的・問題解決的な能力を育てる。	「理科大好き」な児童・生徒を対象に、科学領域における探究的な学びをサポートする講座。	5月〜2月 (全11回)
36	静岡県高校生ロボット競技大会（共催：静岡県工業高等学校長会）	高校生のロボット工学への知識の拡大と技術の向上を目指すとともに、将来の進路選択につながるキャリア教育の場とする。	静岡県内の工業高校が出場するロボットの大会。電子工学科中心のMCR部門、制御工学科中心のPLC部門。	12月
37	第51回静岡県高等学校生徒理科研究発表会県大会（共催：静岡県高等学校文化連盟）	高校生の科学研究に対する意識の向上を図るとともに、理数系の優れた人材育成の場とする。	県内の高校自然科学系部活動によるパネル展示と審査と県東・中・西部各支部大会で選ばれた高校による発表会。	11月 (2日間)
38	職場体験学習	職場体験生に科学館スタッフの仕事を体験させ、各学校の「職場体験学習」を支援する。	科学館運営の理念についての講話や展示物支援、事業補助業務等の実施。	随時

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
39	博物館実習	学芸員資格取得を希望する大学生に対して、職業についての理解を図り、必要な知識や技能を身に付けるための場を提供する。	科学館の運営や事業の企画等について講話や実際の事業運営の体験。	随時
40	社会体験研修	小学校、中学校・高等学校の教員に対して、科学館の業務を体験研修する機会を提供し、教員としての資質向上を図る。	科学館の運営や事業の企画等について講話や実際の事業運営の体験。	随時
41	生涯学習センター連携	職員の専門性やコンテンツを広域展開し、より多くの市民への科学普及を目指す。生涯学習センターを文化活動展開の拠点とする。	セミの抜け殻調査など、環境系のプログラムを軸に、地域に合わせた実施形態を各センターと協議し、開催する。	7月～8月 (5日間) (全6回)
42	静岡音楽館×静岡科学館×静岡市美術館共同事業	音楽、科学、美術の境界を超え、総合的な文化空間を創造する。	静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館が持つ専門性を活かし、総合的な文化発信のためのプログラムを開発、実施する。	10月～2月 (3日間) (全4回)
43	消防フェアinる・く・る（共催：静岡市消防局消防部消防予防課）	火災予防運動の一環として、科学に関する内容を含んだ消防イベントを実施し、幼少年の防火意識の向上と科学への興味喚起を促す。	科学ショー形式での防災に関する実験を中心に、防災にかかわる科学的内容の紹介を行う。	11月
44	親子で科学 犯罪から身を守る！（共催：静岡市建築）	防犯啓発活動による科学的な気づきや科学の視点の広がり及びその機会づくり。	危機の前・直前・起きた瞬間・直後・その後など、その時点で取るべき行動と必要な科学的な知識を習得する。	6月
45	しずおか川自慢大賞（共催：しずおか川自慢大賞実行委員会、しずおか流域ネットワーク）	「川」や「水」をキーワードにした自然環境教育への意識の拡大を図り、地球規模で環境保全を考える市民を育成する。	川や海、水辺を拠点に活動している団体や個人の活動内容発表会と交流会。	2月
46	科学館学習・移動科学館	学校等の科学館利用の促進を図るとともに、理科教育の振興を図り、児童・生徒と科学への興味関心をもたせる。	教育課程に基づいて当館を利用する学校団体に対して、学習支援を行う。また市内の学校に対して館職員が訪問し、学習支援を行う。	随時
47	理数系教員指導力向上研修講座	小・中・高等学校の教員や学校関係者が、問題解決的・体験的な授業の在り方や教材の使い方や研修し授業改善に資する。	小学校、中学校の指導内容に関する体験型の研修会。	未定 (全2回)
48	教員のための博物館の日in静岡	小・中・高等学校の教員や学校関係者が、各企業や団体等が提案する教材・教具を体験し授業への活用方法を探り授業改善に資する。	各企業・団体が開発した新教材・教具の展示会や、教材・教具を使ったワークショップ。	9月
49	第32回葵区・駿河区公私立保育園絵画展（共催：静岡市保育士会ときわ支部会・絵画展実行委員会）	静岡市の保育園の相互の交流を図るとともに、ものづくりへの意識の向上を目指す。	静岡市の保育園の園児が制作した絵画や科学的な要素を含んだ造形物を展示する。	9月 (16日間)
50	学校等研修支援（共催：静岡市教育委員会他）	科学館の資源を活用し、理数系教員等の指導力向上を図るとともに、科学館と教育現場との連携を促進する。	科学館の専門性を生かした研修会や実習の受け入れと講師等の派遣。	随時
51	科学コミュニケーター育成講座	最先端の事項を含む科学技術を適切に伝える人材を育成する。科学を伝えるためのイベントの企画・展開をするスキルを養う。	科学コミュニケーターに必要なスキルの習得を目指す育成講座。科学者との事業企画など実践的な内容を行う。	5月～3月 (全15回)
52	自然・科学系市民活動のつどい「サイエンスピクニック」	地域で活動する自然・科学系の市民グループが活動成果の発表や情報交換などを通じ、取り組みを一層楽しみ、深めるための機会とする。	ブース形式での活動発表と、参加者を含めた市民への情報啓発として先進地の活動家や研究者などを招いた講演等の実施。	3月 (2日間)
53	しずおか科学技術月間	科学コミュニケーション活動を展開していく手立ての一つとして、実践者同士の連携を深める場を創出し、静岡における科学技術文化を醸成させる。	市民と実践者をつなぐスタンプラリーの実施と、実践者間のネットワークを広げるための仕組みづくりを行う。	7月～9月 (51日間)
54	教科書にのっていない本当の科学	ワークショップ・サイエンスカフェ・講演会を展開することにより、科学技術の多様性を紹介する。	講師を招いて話題提供を依頼する。話題提供にあたっては、ワークショップ・サイエンスカフェ・講演会の中から最適な形態を選択する。	4月～3月 (全12回)
55	ネットワーク構築事業	他地域の先進事例調査や連携の深化、科学館事例の普及、周知を行う。	職員出張および有識者招聘のための出張、先進的科学館連携推進事業の周知のための取り組みの実施。	未定 (全15回)

(葵生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学城内学級	多分野の学習をとおして受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがいを創出する。	高齢者向けの総合学習講座。様々な分野の学習と仲間作りを行う。	通年 (全18回)
2	高齢者学級みのり大学青葉学級	多分野の学習をとおして受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがいを創出する。	高齢者向けの総合学習講座。様々な分野の学習と仲間作りを行う。	通年 (全18回)
3	高齢者学級みのり大学草深学級	多分野の学習をとおして受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがいを創出する。	高齢者向けの総合学習講座。様々な分野の学習と仲間作りを行う。	通年 (全18回)
4	葵生涯学習センター運営協議会	地域関係者、学校関係者、学識経験者等から施設運営に対する意見をもらうことで、予織り良い運営に努める。	協議会委員に運営計画及び実施の報告を行い意見を募る。	6月、2月 (全2回)
5	葵生涯学習センターだより発行業務	葵生涯学習センターの利用案内を作成し、より多くの市民に情報を提供することで、施設利用の促進を図る。	センターだよりの発行に関する計画及び実施。	通年
6	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	地域の生涯学習活動を促進し、サークルの人材育成を図るための契機とする。	葵生涯学習センター利用団体との協働企画運営講座を実施する。	通年
7	アイセルわいわい祭り	施設で活動する生涯学習団体に日頃の学習成果の発表の場を提供するとともに地域住民との交流を図る。	アイセル21利用団体の活動発表会を行う。	2月
8	市との共催事業①	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	6月
9	市との共催事業②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	10月
10	静岡市との共催事業③ 認知症の家族のための講座	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	9月
11	財団連携事業① 室内楽フェスティバル	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	財団内連携講座。	10月20日
12	財団連携事業②	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	財団内連携講座。	1月
13	財団内連携事業③ 歌舞伎講演会	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	財団内連携講座。	4月20日
14	財団内連携事業④ コミュニティダンス～4世代ダンス～	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	財団内連携講座。	7月8月 (全4回)
15	財団内連携事業⑤ コミュニティダンス	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	財団内連携講座。	通年 (全5回)
16	ピヨピヨおはなしかご	孤立しがちな乳幼児の親子にお話会を通して心広がる豊かな時間を提供する。	手遊びやパネルシアター、手袋人形等を親子で楽しむ。	通年 (全11回)
17	人形劇フェスティバル	人形劇団へ発表の場を提供すると共に、子ども達に生の人形劇に触れる場を与え、地域文化の活性化を図る。	静岡市内で活動するアマチュア人形劇団による人形劇の祭典。	6月23日
18	情報活用講座	メディアリテラシー能力の向上を図る。	情報社会に対応したパソコン講座を実施する。	1月 (全2回)
19	歴史講座	地元の歴史を学ぶ機会を提供し、郷土愛を育むと共に、生涯学習活動を自主的に企画運営できる団体を育成する。	静岡の歴史に焦点を当て、時代背景、風俗等の文化を学ぶ。	通年 (全7回)
20	歴史講演会	地元の歴史を学ぶ機会を提供し、郷土愛を育む。	歴史講座の公開講座を行う。	1月

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	茶のまち散策	歴史と現在の姿を対比させることで、地域の姿を捉える。	歴史テーマに基づき名所旧跡を巡る。	6月
22	歴史散歩	地域の歴史・文化についての理解を深めると共に、健康増進を図る。	歴史テーマに基づき名所旧跡を巡る。	10月
23	国際理解講座	市内在住の外国人との交流を通して、異文化への理解を深めると共に、日本文化の再認識を図る。	他国の料理や生活様式を学ぶ異文化理解講座。	2月 (全2回)
24	環境啓発講座	環境問題の意識向上を図る。	環境に関する講座を行う。	9月 (全2回)
25	男性料理	食のバランスに対する意識向上と、余暇活動の充実を図る。	料理経験の浅い男性を対象に簡単な調理実習を行う。	11月 (全2回)
26	文学講座	文学に親しむ場を提供し、読書人口の増進を図る。	文学に関する講座を行う。	10月
27	あおい講座	就労する知的障害者が、実生活に必要な教養及び知識を学ぶことで、社会生活への適応能力向上を図る。	就労する知的障害者が実生活に必要な知識を学ぶ。	通年 (全25回)
28	福祉講座	障害者を取り巻く社会問題を理解するとともに、ノーマライゼーション社会実現の一端を担う。	福祉について学ぶ。	12月 (全4回)
29	父子でものづくり	モノ作りを通して、父と子の交流を図る。	父親（男性保護者）と子どものものづくり講座を行う。	8月
30	古文書	古文書解読を通して地域の歴史に触れ、愛着を深めるとともに、文書に残る地域の貴重な歴史を後世に残す。	古文書入門講座。	6月 (全5回)
31	生涯学習センター内連携講座	地域間交流を目指し、ほかの生涯学習センターと連携して事業を行う。	生涯学習センター内連携講座。	7月
32	水引づくり体験講座	のし袋作りを通し、日本の伝統ある習慣についての再認識を図る。	水引を使用したのし袋作りを行う。	11月 (全3回)
33	草木染講座	自然から出る糸でモノづくりをすることで、古来から親しんできた色文化についての再認識を図る。	自然の色で染物を作る。	7月 (全3回)
34	未就学児対象講座	モノを作ることで、子どもたちの創造性を育む。	未就学児を対象にモノ作りに挑戦する。	5月
35	四季の展示事業	季節ごとの展示を行い、来館者参加型の事業とする。	季節ごとの展示を行う。	通年 (全4回)
36	絵手紙講座	絵手紙で季節の便りを作ることで、描くことの楽しさを感じてもらう。	絵手紙で暑中見舞いを描く。	7月 (全2回)
37	父の日プレゼント	手作りプレゼントを贈り日頃の感謝の気持ちを伝える。	父の日のプレゼントを作る。	6月
38	大人のための谷津山体験	谷津山友の会の人材育成。	谷津山の自然保護について学ぶ。	4月
39	創ろう！キミだけのプラモ	設計図の無いところから自由に部材を組み合わせて作品を作り、想像力と創造力を養うとともに、地場産業の紹介を行う。	半端部材を利用してオリジナルのプラモデルを作る。	8月
40	日本食を学ぼう	調理実習を通して日本古来の食文化を学ぶ。	日本食の調理実習。	9月
41	親子料理講座	食育の観点から環境に配慮した調理方法を習得する。	親子向けの調理実習。	8月

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
42	一汁三菜食育講座	栄養バランスの整った食事作りを通し、食という観点から健康について考える。	一汁三菜のお膳を作る。	11月 (全2回)
43	日本文化を学ぼうーお茶ー	日本の伝統文化を再認識する機会を提供する。	日本伝統の茶道の作法を学ぶ。	10月
44	エコ講座	家庭でできる節電・省エネが結果的に地球温暖化対策に繋がるという事を発信する。	「我慢しない、今まで通りの生活」を続けるために必要な省エネ対策を学ぶ。	12月
45	国際理解講座	物流の観点から国際協力について学ぶ機会を提供する。	フェアトレードの仕組みについて学ぶ。	2月 (全3回)
46	消費者問題ーマルチ商法対策ー	マルチ商法の対策方法を学び、安心・安全に暮らせる生活を提案する。	マルチ商法対策について学ぶ。	5月
47	出会ってつながる茶縁ヨガ	ヨガと茶の町散策を行うことで、静岡の土地への理解を深め、仲間作りの機会を提供する。	転入女性を対象に、ヨガと茶の町散策を行う。	2月 (全2回)
48	市内大学との連携講座	科学実験を通して自然科学の不思議に触れ、子どもたちの興味関心を育む。	自然科学の不思議に触れる実験を行う。	8月
49	不要衣服再活用講座	衣服の再利用を通して、リサイクル意識の向上を図る。	不要品の再利用方法を学ぶ。	10月 (全3回)
50	リコーダー講座	皆で合奏する楽しさを体験するとともに、練習の成果を舞台上で発表する機会を提供する。	簡単な楽曲を練習し、成果を発表する。	6月 (全7回)
51	人材育成講座	若者の意識を変え、きちんと自分の頭で考えることのできる人材を育てる。	30代までの若者を対象とした人材育成講座。	通年 (全10回)
52	地元の職人に学ぶー和菓子作りー	地元の菓子職人から和菓子作りを教わり、和菓子の魅力を学ぶ。	地元の職人から和菓子作りを学ぶ。	12月
53	女性のための日曜大工講座	モノづくりを通して、より良い生活を送るための方法を提案する。	家具職人から日曜大工を学ぶ。	11月 (全3回)

(西部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学西部学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目指す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	通年 (全18回)
2	西部生涯学習センター運営協議会	利用しやすい施設運営及び地域・まちづくりに貢献する事業展開を図る。	学校、利用団体、学識経験者等の幅広い分野の意見を施設運営に活かすための協議会。	5月、2月 (全2回)
3	西部生涯学習センター展示・広報事業	当センターの施設PRと講座情報提供及び利用者の拡大を図る。	地域内外にむけた当センターの施設案内、講座情報提供事業や展示ロビー活動。	通年 (全12回)
4	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	生涯学習団体の活性化を図るとともに、指導者としての役割を担える人材を育成する。	生涯学習団体と協働企画運営する事業の案を募る。	通年
5	西部生涯学習センター夏まつり	利用団体の成果発表の場、新規利用者獲得の場として生涯学習センター機能の発展を目指す。	芸能発表会、作品展示、体験教室など夏の恒例行事。	8月
6	市との共催事業①	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	1月
7	市との共催事業②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	6月
8	市との共催講座③	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	12月
9	財団連携事業（市美・慶喜）	組織力を活かした学習環境の構築。	静岡市美術館の専門性を活かした美術講座。	11月
10	財団連携事業（市文・歌舞伎）	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	葛西誠司氏に市民文化会館で行われる歌舞伎の演目の解説をしてもらいます。	4月14日
11	せみのぬけがら講座	組織力を活かした学習環境の構築。	静岡科学館の専門性を活かした講座。田町公園でせみのぬけがらを採取し、判別法を学ぶ。	8月上旬
12	西部生涯学習センター利用団体連絡会	利用団体間の相互交流及びセンター事務局との関係構築。	夏まつりをはじめAED研修など利用団体間の相互学習の企画運営及び調整のための連絡会。	通年 (全12回)
13	和裁で着物リサイクル	リサイクルを通じて、環境に配慮した考えを定着させる。	タンスに眠っている着物をリサイクルし、活用する。	7月 (全2回)
14	藁科の有機のお茶で天然酵母パン	静岡の特産のお茶の活用法と紹介を通じて、静岡の新たな魅力を発信する。	お茶を使った天然酵母パンとお菓子作り。	6月
15	子ども合唱講座	合唱を通じて、子どもの協調性と豊かな人間性を育てる。	小学生を対象とした合唱練習。声の出し方等を学ぶ。	7月～8月 (全6回)
16	プリザーブドフラワー体験	母の日のプレゼントを自分で作ることで、達成感と母への感謝の気持ちを再認識する。	プリザーブドフラワーを用いて母の日のプレゼント作り。	4月下旬
17	エクササイズ ストレッチ	運動を通じて、健康促進と仲間作りを図る。	てぬぐいを用いて、無理のないエクササイズを行う。	6月、7月 (全4回)
18	初めてのヨガ体験	就労層の利用促進、夜間を利用した心身リフレッシュの機会の提供。	就労層を対象にしたヨガ講座。	5月 (全3回)
19	女性のための護身カラテ	就労層の利用促進、夜間を利用した心身リフレッシュの機会の提供。	就労層を対象にした基礎から学ぶカラテ入門講座。	10月 (全3回)
20	家庭教育講座	子育てに関する情報の提供及び家庭教育に関する学習機会の提供。	保護者を対象とした小学校入学準備講座。	2月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	パソコンで年賀状作り	I Tリテラシーの向上。	パソコンを用いた年賀状作りの体験講座。	11月
22	歴史講座①	郷土への理解を深め、地域の魅力を再発見する。	西部地域名所巡り、歴史や文化を学ぶ西部歴史塾シリーズ。	7月
23	古典文学講座	古典文学を通じて、古き良き日本を学ぶ。	古典文学を学ぶ。	3月 (全3回)
24	漆塗弁当箱づくり	地域の人材活用及び地場産業、伝統工芸のPR。	伝統工芸である漆塗りを学び、漆塗りの弁当箱を作る。	11月～12月 (全6回)
25	竹細工体験講座	地域の人材活用及び地場産業、伝統工芸のPR。	駿河の伝統工芸の竹細工を学び、竹を用いた花器をつくる。	2月 (全2回)
26	下駄づくり体験講座	地域の人材活用及び地場産業、伝統工芸のPR。	静岡の特産の下駄と漆器を組み合わせた下駄作り。	10月 (全2回)
27	初めての蕎麦打ち体験	市民団体との協働企画運営。 そば打ち体験を通して地域交流を図る。	利用団体と協働運営するそば打ち入門講座。	4/10、24 (全2回)
28	親子リトミック	市民団体との協働企画運営。 親子あそびを通して保護者の情報交換、交流の場を提供。	利用団体と協働運営する親子あそび講座。	12月
29	干物作り講座	干物の作り方を通して、食の安全と健康について考える場を提供する。	魚のさばき方と干物の作り方。	12月
30	音楽会（静岡商業高校吹奏楽部）	高校との協働企画運営。 音楽を通して、学校と地域住民の交流を図る。	静岡商業高校吹奏楽部と協働企画運営する地域音楽会。	3月
31	大正琴体験講座	市民団体との協働企画運営。 大正琴を通して、地域交流を図る。	利用団体と協働運営する大正琴体験講座。	9月 (全5回)
32	親子の社会科見学	社会科見学を通して、親子交流を図る。	大谷崩れ見学（予定）。	8月上旬
33	ちびっこ探検隊（大根まき）	地域の子育て支援者の活用。 大根まきを通じて、自然に対して子どもの豊かな人間性を育てる。	大根まきと、隣接する公園での自然遊び。	9月下旬
34	ちびっこ探検隊（大根掘り）	地域の子育て支援者の活用。 大根掘りを通じて、自然に対して子どもの豊かな人間性を育てる。	大根掘りと、隣接する公園での自然遊び。	12月
35	ちびっこ探検隊（初夏）	地域の子育て支援者の活用。 自然の中で遊ぶことを通して子どもの豊かな人間性を育てる。	隣接する公園での自然遊びとセンター室内での親子遊び。	6月
36	古本リサイクル市	循環型社会の形成を推進する団体の活用と支援。	古本をリサイクルすることで、環境について考える。	9月下旬
37	餅つきと餅花作り	地域文化の継承活動を推進する人材の活用と支援。	餅つきや餅花作りで季節の伝統行事を楽しむ。	1月中旬
38	四季折々	身近な自然資源の活用と環境保全の意識向上。	自然案内人（インタープリター）による季節の自然素材を利用したものづくり講座。	9月 (全4回)
39	おはなし玉手箱	地域の子育て支援者の活用及び、気軽に参加できる親子の居場所作り。	未就学児と保護者を対象にした手遊び、絵本の読み聞かせ講座。	5月～3月 (全10回)
40	パソコンサロン	パソコンを使った相互学習により、地域交流、社会参加を推進。	パソコン操作に関する質問や相談に応じるサロン形式の講座。	5月～2月 (全9回)

(南部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学南部学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目差す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	通年 (全18回)
2	みなみウーマンカレッジ	様々な講座を通して参加者の個性を引き出し魅力ある人材養成を目的とする。	講義や物づくりを通して仲間づくりと交流を深める。	7～1月 (全7回)
3	南部生涯学習センター運営協議会	意見を参考にし、長期的視点の施設運営や地域町づくりに貢献できる事業展開を図る。	利用団体・地域住民・学識経験者より意見を伺い、施設運営、事業の参考とする。	6月、2月 (全2回)
4	広報・展示事業	当センターの施設PRと講座情報提供及び利用者の拡大を図る。	センターだよりの発行と館内展示事業。	通年
5	生涯学習団体との協働企画運営公募事業	登録利用団体（認定団体）の活動の充実化と活性化を図る。	登録利用団体の活動を活性化のために協働事業の計画をたて次年度協働講座を行う。	通年
6	なんぶフェスタ	地域住民と利用者の交流を図り、生涯学習センター活動の相互理解を深める。	南部生涯学習センター利用団体と地域住民との交流を図る。	8月
7	市との共催①	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	8月
8	市との共催②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	9月
9	財団連携事業①（音楽館）	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	財団内連携講座。	2月
10	財団連携事業②（科学館）	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	財団内連携講座。	8月
11	パソコン講座	情報リテラシーの活用能力を学ぶことで社会参加推進の一助とする。	初心者向けにパソコンの基礎を学ぶ。	11月 (全3回)
12	夏を描く はじめての絵手紙	絵手紙を作成することにより、生活の中に絵画の彩りを取り入れた季節感溢れるライフスタイルを提案、提供する。	初心者向け絵手紙講座。	6/6～6/19 (全3回)
13	篆刻・篆書の基本を学ぶ	伝統工芸の面白さや奥深さを学び、書の魅力を再認識する。	初心者を対象にした篆刻・篆書の基礎講座。	5/17～6/7 (全4回)
14	デジタルカメラ講座	写真を通じ、静岡の文化や風景を記録として後世に伝える。	講義から実践、プレビュー、講評までプロによる本格的なデジタルカメラ撮影のノウハウを学ぶ。	12月 (全3回)
15	七宝焼き入門講座	七宝焼きの歴史を学び、作成の基礎技術を習得する。	七宝焼き入門講座。	9月 (全2回)
16	七宝焼き初級講座	七宝焼きの技術を学び、作成の応用を習得する。	七宝焼き初級講座。	10月 (全3回)
17	囲碁講座	囲碁を通して頭の運動を行うことで老化を遅らせるだけでなく、仲間づくりと交流を図る。	初心者向け囲碁講座。	11月
18	フラワーアレンジメント講座	フラワーアレンジメントを手作りすることにより、自然への意識と伝統ある欧州文化への関心と理解を深める。	季節の花々を使って欧風のフラワーアレンジメントを作成する。	12月 (全3回)
19	手作りおやつ講座	親子でお菓子作りをすることで手作りの楽しさを学び、子どもの情操教育の一助とする	親子でお菓子を作る。	2月 (全3回)
20	詩吟入門講座	伝統文化を見直す機会とし文化振興の推進を目的とする。	詩吟の入門講座。	6月 (全4回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	パッチワーク講座	手仕事の楽しさを通じ、ものづくりの意義を学ぶ。	パッチワークの入門講座。	1月 (全4回)
22	英語で観光案内	英会話を通じて地域の再発見と国際交流をはかる。	駿河区の観光案内を英語で学ぶ。	9月 (全3回)
23	書道講座	書道の歴史から現在の書道教育にいたる過程を学ぶことにより、伝統文化への理解を深める。	書道についての総合学習。	1月 (全2回)
24	マッケンジー住宅ライブ 春	地域の文化財を活用し、その存在を市民へ周知する。	旧マッケンジー住宅で市民グループの音楽を楽しむ。	5月
25	マッケンジー住宅ライブ 秋	地域の文化財を活用し、その存在を市民へ周知する。	旧マッケンジー住宅で市民グループの音楽を楽しむ。	10月
26	南部歴史塾①	静岡の歴史について学び、知識を高め学習意欲を推進させる。	静岡市駿河区周辺の歴史を学ぶ	9月 (全6回)
27	市との共催③	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	2月
28	からだの静と動	自分自身の身体の動きを知る機会を提供する。	からだの静的な動きと動的な動きを学ぶ。	7月 (全6回)
29	初めての社交ダンス	社交ダンスを通じて健康増進と受講者同士の交流を図る。	社交ダンスのモダンとラテンの基礎を学ぶ。	5月 (全5回)
30	歌って踊ろう (未就学児)	未就学児の心身発達をサポートし、創造性を高める。	歌って踊る講座。	5月 (全2回)
31	ヴォイストレーニング (大人)	声を出すことにより健康増進を図る。	ヴォイストレーニングを体験する。	11月 (全3回)
32	音楽講座	音楽の楽しさを楽器を扱うことにより体験する。	ギターの基礎を学ぶ。	9月 (全5回)
33	縄跳び講座	身近な健康器具を使って健康増進を図る。	縄跳びの色々な跳び方を学ぶ。	10月 (全2回)
34	親子体操	未就学児の心身発達をサポートし、親子の交流を深める場を提供する。	親子で体操をする。	11月 (全3回)
35	総合学習「いきいき塾」	様々な分野の学習を通じて自身の魅力を再発見する機会とする。	各分野の講演会を行う。	9～12月 (全4回)
36	日本伝統文化を学ぶ①	日本の伝統文化を見直す機会を提供する。また、伝統文化の魅力に対する意識向上を図る。	伝統工芸品の作品づくり。	10月 (全3回)
37	子ども料理講座	簡単で安全に行うことができる調理方法を学び、食生活を見直す機会を提供する。	子ども向けの料理実習。	7月
38	健康講座	集団で身体を動かす機会を提供することで、健康促進とともに受講者同士のコミュニケーションを図る。	健康管理を考えた健康増進の体操。	4～5月 (全4回)
39	文化、教養講座	地域の文化、教養を見直す機会とし、地域の魅力を再発見する。	文化、教養講座 (座学) を行う。	1～2月 (全3回)
40	楽しく踊ろう！ハワイアン・フラ入門	健康促進を図り、受講者同士の交流を深める場とす。	フラダンスの基礎を学ぶ。	5/15～6/12 (全5回)
41	日本伝統文化を学ぶ②	地域の伝統文化を見直す機会とし、地域の地場産業への理解を深める。	伝統工芸品の作品づくり	11月 (全4回)

(東部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学東部学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目指す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	通年 (全18回)
2	東部生涯学習センター利用者団体連絡会	利用者との意見交換の場を定期的に設け、地域に根ざした生涯学習センターを目指す。	東部生涯学習センターを支える利用者団体との連絡会。まつり実施に向けた打ち合わせ等。	通年 (全10回)
3	東部生涯学習センター運営協議会	生涯学習活動及び施策の成熟に寄与する。	運営委員から施設運営への意見・要望を伺う。	5月、3月 (全2回)
4	展示広報事業	東部生涯学習センター全体の運営内容を市民一般に広報する。	主催事業のPRや利用団体等の成果発表の場の提供。	通年
5	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	市民の自発的な活動の機会・場所を提供する。	平成26年度に向けて生涯学習団体との協働企画の募集を行う。	5月～7月
6	第33回東部夏まつり	生涯学習活動をより地域に根付いたものとするため、地域住民との交流を図る。	演芸大会、演奏会、作品展示会、サークル1日体験、健康フェア等を実施する。	7月28日
7	第23回ふれあい広場	生涯学習活動をより地域に根付いたものとするため、地域住民との交流を図る。	演奏会、作品展示会、豆まき大会、消防フェア、保健福祉センターイベントを実施する。	2月2日
8	行政協働事業①	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	6月
9	行政協働事業②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	2月
10	行政協働事業③ 夏休み英語体験 ALTとあそぼう	地域社会と学校教育の関わりを深め、子どもの国際理解、異文化への関心を育む。	ALT（外国語指導助手）と交流し、英語を学習する。	8月 (全2回)
11	財団連携事業① AOI見学	身近な芸術に触れることで、子どもの豊かな感受性を育てる。	AOI見学を行う。	3月
12	財団連携事業② 歌舞伎講座	日本の伝統文化への理解を深める。	歌舞伎についての解説を聞く。	4月
13	財団連携事業③ コミュニティダンスプロジェクト「踊るひつじプロジェクト」	財団の専門性を活かした事業を行い、地域の文化振興の発展に寄与する。	財団内連携講座。	8月 (全14回)
14	財団連携事業④ 科学館サイエンスフェスティバル	静岡の科学コミュニケーター人材を育成するとともに市民に科学に対する理解、興味を深める。	財団内連携講座。	8月
15	財団連携事業⑤ コミュニティダンスプロジェクト「月1ダンス教室」	初心者でも踊れるダンスでダンスの魅力を伝え、健康促進を図る	初心者向けの誰もが踊れるダンス講座を行う。	5月～3月 (全6回)
16	楽しい鎌倉彫入門～丸盆に椿を彫る～	団体と協働し、鎌倉彫の魅力を伝えることで伝統文化への理解を深める。	鎌倉彫体験。	4月 (全5回)
17	初めての蕎麦打ち体験	そばうちの正しい知識を学ぶとともに仲間作りの場を提供する。	そばうちの体験。	5月 (全2回)
18	着付け体験教室	着物全般について学び、日本の伝統文化を見直す機会を提供する。	着物の成り立ち等を学び、実際に着付けを行う。	5～6月 (全8回)
19	はじめての健康麻雀	麻雀を媒体にコミュニケーションをとりながら脳を使うトレーニングとしての憩いの場を作る。	麻雀のルール、遊び方を学ぶ。	5月 (全4回)
20	思春期の子ども相談	思春期を迎えた子どもの保護者特有の悩みを解決する糸口を提供する。	スクールカウンセラーによる参加体験型の講義で家庭教育について学ぶ。	6月 (全3回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	高齢者パソコン講座	パソコンの普及に迫りつけず、不便を強いられている高齢者等をフォローする。	高齢者向けの初心者を対象にしたパソコン講座。	6月 (全3回)
22	巴川のおさかな探検隊	河川で自然観察を行うための正しい知識を学び、環境保全に対する関心を高める。	巴川の水生生物について正しい知識を学び、実際に採取・観察を行う。	7月 (全2回)
23	遊水地の昆虫と遊ぼう	身近な自然に触れることで、子どもの豊かな感受性を育てる。	親子で麻機遊水地の昆虫や自然を採取・観察する。	8月
24	夏休み子ども市場見学	生鮮食料品類の流通について学ぶことで見聞を広める。	親子で静岡市中央卸売市場を見学し、流通の仕組みについて学習する。	8月
25	子ども料理教室	子どもの料理の対する意識向上を図り、実習による協調性を養う。	子どもでも簡単に挑戦できる料理実習。	8月
26	アートで遊ぼう	他者とコミュニケーションをとりながら表現(ダンス)することで、他者との違い、共生を学ぶ。	プロのアーティストの話を聞きながら、アートと触れ合う。	8月 (全3回)
27	みんなでベビーマッサージ	出産後の子育てに関する相談や情報交換の場を提供する。	母子対象のベビーマッサージ講座。情報交換やママ体操も行う。	9月 (全4回)
28	はじめてのパンづくり	パンを手作りする楽しさを学び、食の安全についても考える。	パン作り体験。	9月 (全3回)
29	健康を考えた気功術体験～入門編～	市民の健康増進に寄与し、仲間づくりの場を提供する。	健康を考えた気功術を学ぶ。	10月 (全4回)
30	1・2年生の子育て教室	小学1・2年生に有益な学習方法や生活習慣について学び、家庭での支援の方法を知る。	小学1・2年生の保護者を対象に、学習・生活について考える。	10月 (全3回)
31	3・4年生の子育て教室	小学3・4年生に有益な学習方法や生活習慣について学び、家庭での支援の方法を知る。	小学3・4年生の保護者を対象に、学習・生活について考える。	11月 (全3回)
32	健康歴史ウォーキング	市民の健康増進に寄与し、仲間づくりの場を提供する。	自然と歴史を楽しみながらウォーキングを行う。	11月 (全3回)
33	和菓子講座	和菓子の製造方法を学び、仲間づくりの場を提供する。	和菓子作り。	12月 (全3回)
34	伽藍座長のサイエンスショー	演劇体験と理科の知識を同時に体験することで子どもの感受性、教養を高める。	演劇を組み込んだ理科の実験会。	12月
35	はじめてのヨガ	市民の健康増進に寄与し、仲間づくりの場を提供する。	日頃の運動不足を解消し、生活習慣病を予防するためのヨガ入門講座。	1月 (全4回)
36	女性のための瞑想と護身術	健康を促進するとともに、護身術を学ぶことで日常の防犯意識を高める。	瞑想と護身術の基礎を学ぶ。	1月 (全4回)
37	健康料理作り	料理作りを通じて、健康について考える。	栄養バランスを考えた料理を作る。	2月 (全3回)
38	冬鳥観察会	身近な自然に触れることで、環境配慮や動物への愛護精神を高めることを促す。	冬鳥の観察会。	2月
39	ステンドグラス講座	静岡市が推進する「ホビーのまち静岡」の実現に向けて、関連する事業を実施する。	ステンドグラスの作品を作る。	2月 (全3回)
40	アロマオイルでマッサージ	アロマセラピーを日常生活に取り入れ、より充実した健康な生活を満喫する。	体調に合ったアロマオイル作りや心身をほぐすマッサージを体験する。	3月 (全2回)

(長田生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学長田学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目差す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	通年 (全18回)
2	長田生涯学習センター運営協議会	市民の意見を広く徴し、生涯学習センター運営に反映させる。	センター利用者、地元関係者、学識経験者等からなる協議会を設け、施設運営・事業について意見交換をおこなう。	6月、2月 (全2回)
3	展示・広報事業	センターの認知を高め、事業のPR及び理解を図り、利用者の拡大を図る。	センターだよりを発行し長田エリア全世帯へ配布する。	通年
4	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	市民の自発的な学習活動の支援を図る。	日頃センターを拠点に活動中の団体へ共同開催する講座の募集を行う。	通年
5	おさだ生涯学習センターまつり	生涯学習活動をより地域に根付いたものとし、地域住民との交流を図る。	バザー、こどもあそび広場、健康まつり、消防車など、利用者及び地域の住民とセンターが協働で開催するふれあいまつり。	7/20、7/21
6	駿河健康支援課との共催事業	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	10/17、 11/14、12/5
7	市との共催事業②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	夏
8	市との共催事業③	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	冬 (全2回)
9	講演会「オーケストラを聴こう」	子どもから大人まで幅広い層のクラシック音楽への理解と関心を高め、静岡市の音楽文化を振興する。静岡音楽館を市民に広くPRする。	AOI学芸員がさまざまなオーケストラの名曲を紹介し、オーケストラの魅力について語る。	5月19日
10	財団文化施設との連携事業	市民に身近な施設で、今後の芸術鑑賞において視点を多く持たせるための学習機会を提供する。	財団管理の文化施設との連携事業を行い、専門性を活かした事業を市民に提供する。	秋
11	静岡市美術館との連携事業	市民に身近な施設で、今後の芸術鑑賞において視点を多く持たせるための学習機会を提供する。	財団管理の文化施設との連携事業を行い、専門性を活かした事業を市民に提供する。	11月
12	和を楽しむ～季節の和菓子作り	食文化への関心を深め、日本特有の文化の魅力を再発見する。	地元の菓子職人から和菓子作りを教わり、和菓子の魅力を学ぶ。	11月 (全2回)
13	長田生涯学習センター利用者団体連絡会	利用団体間相互の連絡親睦を図り、センター運営に市民の声を反映させ、共催事業の計画運営によりまちづくりを推進する。	役員及び幹事をもって利団連を構成し、事業計画、予算決算及び役員の選出その他重要事項を審議し決定する。	通年 (全11回)
14	丸子川クリーン活動	環境美化と地域コミュニティの醸成をはかる。生涯学習センターと地域との連携・つながりを強化する。	連合町内会と連携し丸子川宇津ノ谷からべったん橋までの土手約7kmの清掃と草刈りを行う。	11月10日
15	長田音楽祭	音楽関係団体の日頃の成果を発表の場を設け、新たな会員を増やす機会とし、生涯学習センターの認知を高める。	長田生涯学習センター利用者団体連絡会に所属する音楽サークルの発表会。	2月2日
16	利用者団体連絡会総会イベント	イベントを実施することで、利用団体だけでなく地域住民の方にセンターの認知を高め、利用するきっかけを作る。	利用者団体連絡会幹事による決算報告と監査報告をおこなう。その後、イベントとして講演会や音楽会等を行う。	3月9日
17	日本語教室「おさだ」	日本語サポート・悩み相談を通じ相互理解を深め、より住みやすいまちづくりの一環として地域に根差した国際交流を図る。	ボランティアサークル「にほんごおさだ」による日本語習得を必要とする在住外国人への日本語学習指導。生活・悩み相談。	通年
18	気軽に楽しむシェイプアップストレッチ	高齢化・人数の減少に悩む利用団体の活動を活性化し、会員の増加を期待し、生涯学習センターの利用率を高める。	日頃センターを拠点に活動する団体と共同開催し講座を行う。	5/14、5/21 (全2回)
19	利用団体との共催事業②	高齢化・人数の減少に悩む利用団体の活動を活性化し、会員の増加を期待し、生涯学習センターの利用率を高める。	日頃センターを拠点に活動する団体と共同開催し講座を行う。	秋 (全2回)
20	おさだファミリーコンサート	センター利用団体に発表の場を提供し、子どもから大人まで楽しめるコンサートを通じ地域の音楽振興の一助とする。	利用団体演奏による、子どもから大人まで気軽に参加し、楽しめる吹奏楽コンサートを実施する。	6月16日

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	おさだクリスマスファミリーコンサート	センター利用団体に発表の場を提供し、子どもから大人まで楽しめるコンサートを通し地域の音楽振興の一助とする。	利用団体演奏による、子どもから大人まで気軽に参加し、楽しめる吹奏楽コンサートを実施する。	12月15日
22	春のこどもあそび教室	「あそび」を通じ集団生活の楽しさを知る機会とし、親子の触れ合いや子どもの社会性と協調性の芽生えを養う。	2～3歳児とその保護者を対象に、親子参加型でリズム遊びやリトミックの楽しさを学ぶ。	4月～7月 (全12回)
23	秋のこどもあそび教室	「あそび」を通じ集団生活の楽しさを知る機会とし、親子の触れ合いや子どもの社会性と協調性の芽生えを養う。	2～3歳児とその保護者を対象に、親子参加型でリズム遊びやリトミックの楽しさを学ぶ。	9～11月 (全12回)
24	冬のこどもあそび教室	「あそび」を通じ集団生活の楽しさを知る機会とし、親子の触れ合いや子どもの社会性と協調性の芽生えを養う。	2～3歳児とその保護者を対象に、親子参加型でリズム遊びやリトミックの楽しさを学ぶ。	12月～3月 (全12回)
25	パソコン講座	市民ニーズの高いパソコン講座を実施しシニア層に向けて情報リテラシー能力向上を図り、地域住民の交流を深める。	パソコンの初心者を対象にキーボード入力などパソコンの基礎を利用団体会員と講師から学ぶ。	11月～12月 (全4回)
26	親子料理講座	自炊の美味しさ・大切さについて楽しく学習する機会を提供し、食の重要性と健康管理への意識を高める。	刃物や調理機器の使い方を学びながら、料理実習を行う。	8月
27	夏休み理科自由研究を楽しもう！	児童の科学への関心を高める。地元在住元教師らの研究活動の推進と地元人材活用。	夏休みの自由研究に役立つ身近なものを使った理科実験教室。	7月
28	こども理科実験	児童の科学への関心を高める。地元在住元教師らの研究活動の推進と地元人材活用。	身近なものを使った理科実験教室。	10月
29	男性料理教室	自炊の美味しさ・大切さについて楽しく学習する機会を提供し、健康管理への意識を高め男性の家事参画を促す。	料理初心者の男性を対象に、料理の基本を学ぶ。	5～6月 (全3回)
30	おさだ歴史散歩～長田地域を歩く～	地域の魅力を再発見し、地域に対する理解をより一層深め、心身の健康増進につなげる。	駿府ウエイブの案内のもと、長田地区の歴史や史跡を歩いて訪ねる。	4月20日
31	文学鑑賞講座	日本文学を学ぶことで、美しい日本語に触れ当時の時代背景を読み取り、日本独自の文化の魅力を再発見する。	文学について深く学ぶ。	11月 (全5回)
32	郷土史研究	地域の魅力を再発見し、センター地元への理解と愛着をより一層深める。長年センターで学習してきた研究会の人材活用。	十返舎一九や丸子宿等、長田地区に関連する歴史や史跡、文学について学ぶ。	7月～2月 (全8回)
33	小坂でじゃがいも掘りに挑戦！	地域の特産の紹介を通じ、地域の魅力の再発見につなげる。	学習センター地元で採れる農産物等の収穫・農業体験等地域資源を活用した講座を行う。	5月
34	長田の桃でフルーツタルトづくり	地元特産物の紹介を図り地産地消を推進する。人気の高い甘味づくりを通し、従来利用のなかった層の利用推進を図る。	長田地区特産の桃を使い、フルーツタルトをつくる。	6月 (全4回)
35	親子社会科見学	地元の名物・名所・特色ある施設の見学・紹介を通じ、地域の魅力の再発見につなげる。交通リテラシーを磨く。	生涯学習センター地元の施設見学等、地域資源を活用した講座を行う。	8月
36	初心者のためのカラテ道入門	健康づくりに役立つ。利用団体を活性化し従来利用のなかった層の利用推進を図る。	日頃体を動かす機会のない層に、楽しみながら汗をかく機会を提供し、健康維持の空手を行う。	4/5～5/31 (全8回)
37	知りたい！用宗漁港	地域にある施設の紹介を通じ、地域の魅力の再発見につなげる。	学習センター地元にある魅力あふれる施設を訪ね、体験する。	8月 (全2回)
38	フルーツ王国おさだ	地域の特産の紹介を通じ、地域の魅力の再発見につなげる。	学習センター地元で採れる農産物等の収穫・農業体験等地域資源を活用した講座を行う。	6～9月 (全3回)
39	目指せ！スズムシはかせ	子どもが自然に親しむ機会とする。地元在住の研究者の活動の成果発表の場とし、地域交流の場とする。	学習センター地元在住の専門家から、専門の研究分野を学ぶ。	6月 (全2回)
40	夏休み英語体験 ALTとあそぼう	地域社会と学校教育の関わりを深め、国際理解、異文化への関心を育む。	ALT（外国語指導助手）と一緒に歌やゲームに親しむ。	7月～8月

(北部生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学北部学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目指す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	通年 (全18回)
2	北部生涯学習センター運営協議会	利用者や学校関係者等から意見を伺いより良い施設運営を目指す。	年間事業、施設運営に関する協議を行う。	5月、2月 (全2回)
3	展示・広報事業	市民が学習成果を還元する機会を提供する。また、広報活動を展開し、施設や講座の情報を地域に周知する。	生涯学習センター便りの作成と展示ロビーを成果発表の場として提供する。	通年
4	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	事業の企画立案と協議を通じて生涯学習団体の活性を図り、指導的役割を担う人材を育成する。	次年度共催で実施する事業案を公募し、実施に向けた協議を行う。	8月～11月
5	ほくぶ文化祭・健康まつり	市民が学習成果を地域に還元する機会とし、地域の世代間交流を促進する。	芸能祭、作品展示、地場産品紹介、健康相談などを実施する。	7月
6	市との共催事業①	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	9月～12月
7	市との共催事業②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	2月
8	市との共催事業③	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	6月～10月
9	財団連携事業①ダンス講座	文化施設職員の協力による専門性の高い講義を実施し、地域の文化振興の一助とする。	財団内の他施設と連携講座を実施する。	7月～8月 (全10回)
10	財団連携事業②美術館講座	文化施設職員の協力による専門性の高い講義を実施し、地域の文化振興の一助とする。	財団内の他施設と連携講座を実施する。	11月～12月 (全2回)
11	財団連携事業③セミのぬけがら博士	文化施設職員の協力による専門性の高い講義を実施し、地域の文化振興の一助とする。	財団内の他施設と連携講座を実施する。	8月
12	科学講座	親しみやすいテーマから科学技術に触れる機会を提供し、市の科学技術文化の醸成に寄与する。	科学に関する講義等を行う。	1月～2月 (全2回)
13	伝統工芸体験講座	静岡市の伝統文化を紹介し、地場産業の価値を次世代に継承する。	職人による講義と工芸品の制作を行う。	4月～6月 (全2回)
14	基礎から学ぼう デッサンABC	絵画制作等を通じて美術に親しむ機会を提供し、市民の文化意識の向上を図る。	デッサン等絵画制作の基礎を学習する。	6月～7月 (全4回)
15	草笛体験	昔ながらの伝承あそびの体験を通じて地域住民の交流を促進する。	草笛の吹き方を習得し、演奏を楽しむ。	6月 (全3回)
16	花で彩るウェルカムボード	ものづくりへの関心を高める契機とし、市民の文化意識の向上を図る。	木工芸の制作を行う。	4月～5月 (全2回)
17	中国語講座	語学学習を通じて異文化理解、国際交流の促進を図る。	語学の基本を学習し、異文化を学ぶ。	7月～9月 (全4回)
18	はじめての民謡	日本の伝統文化に触れる機会を提供し、市民の文化意識の向上を図る。	日本の伝統文化である民謡の基本を学び、体験する。	4月～5月 (全2回)
19	パソコン講座	学習者の要望や現代的課題に配慮した分野の学習機会とし、情報活用能力の向上を図る。	高齢者を対象としたエクセル、ワード等の講習を行う。	1月～2月 (全3回)
20	スプリングコンサート	気軽に参加できるコンサートを開催し、地域の音楽文化振興に寄与する。	親しみやすい楽曲を集めたコンサートを開催する。	3月

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	ファミリーコンサート	親子で気軽に参加できるコンサートを開催し、地域の音楽文化振興に寄与する。	子どもが楽しめる楽曲を中心としたコンサートを開催する。	5月～6月
22	異文化体験講座	講義と体験を通じて異文化理解、国際交流の促進を図る。	異文化に関する講話と調理実習を行う。	10月 (全2回)
23	夏休み英語体験 ALTとあそぼう	地域社会と学校教育の関わりを深め、子どもの国際理解、異文化への関心を育む。	ALT（外国語指導助手）と交流し、英語を学習する。	8月 (全2回)
24	世界のあそび体験	様々な国の遊びの体験から子どもの国際理解、異文化への関心を育む。	世界の遊びを体験する。	11月
25	手工芸講座	趣味的な学習を通じた交流機会を創出し、地域における生涯学習活動を推進する。	手工芸の体験を行う。	11月～12月 (全2回)
26	地元食材の料理講座	北部地域産の食材の魅力を伝えることにより地産地消への関心を高め、郷土への理解を深める。	地元の食材を活用した調理実習を行う。	1月～2月 (全3回)
27	家庭料理講座	様々な状況における食への理解を深めるとともに健康増進の一助とする。	基礎的な家庭料理の調理実習を行う。	1月～2月 (全2回)
28	親子料理講座	成長期の子どもの食習慣を見直す機会とし、家庭における食育を推進する。	親子対象の調理実習を行う。	12月～2月 (全2回)
29	子育て講座	子育て世代の仲間づくりのきっかけとし、育児に関する様々な悩みを共有、解決する場を提供する。	子育てに関する講義等を行う。	5月～7月 (全3回)
30	輝け私！自分磨き応援講座	社会や地域との関わり方等について考え、参加者相互の交流を通して自己実現や交友関係の構築を図る。	姿勢の整え方、コミュニケーション術、自己分析、リラックス方法に関する講義と体験を行う。	4月～7月 (全4回)
31	女性の教養講座	社会や地域との関わり方等について考え、参加者相互の交流を通して自己実現や交友関係の構築を図る。	様々な角度から生きがいや社会との関り方を考える連続講座を実施する。	9月～12月 (全4回)
32	山歩き講座	市民の健康増進に寄与するとともに、地域資源を活用することにより環境保全意識の高揚を図る。	山歩きの基本学習と実践を行う。	5月 (全4回)
33	読み聞かせボランティア養成講座	読書習慣の促進に寄与するとともに読み聞かせの活動を通して地域に貢献できる人材を育成する。	読み聞かせについての講義と実践を行う。	7月 (全3回)
34	スポーツ講演会	スポーツによる地域振興を促進し、市民の健康増進に寄与する。	スポーツ関係者による講演会を実施する。	6月
35	北部探訪・歴史講座①	北部地域の歴史等を紹介し、地域の魅力を広く発信する。	北部地域の歴史等を紹介する。	6月 (全2回)
36	北部探訪・歴史講座②	北部地域の歴史等を紹介し、地域の魅力を広く発信する。	北部地域の歴史等を紹介する。	1月 (全2回)
37	北部探訪・歴史講座③	北部地域の歴史等を紹介し、地域の魅力を広く発信する。	北部地域の歴史等を紹介する。	3月 (全2回)
38	北部探訪・文化体験講座	北部地域の豊かな自然や文化財等の価値を紹介し、地域の魅力発信と交流を促進する。	北部地域に伝承される文化についての学習と体験を行う。	10月 (全2回)
39	中山間地交流講座	北部地域の豊かな自然や文化財等の価値を紹介し、地域の魅力発信と交流を促進する。	中山間地地域の名所や歴史、伝統等を紹介する。	10月～11月
40	ほくぶおはなしバスケット	週末の子どもの居場所づくり、仲間づくりの機会とし、読み聞かせの活動を通して地域に貢献できる人材を育成する。	絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び等を行う。	通年 (全10回)

(藁科生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学藁科学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目指す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	通年 (全18回)
2	藁科生涯学習センター運営協議会	施設利用者や、学校関係者、地域づくりに係わる市民と共に、施設運営についての現状及び課題についての意見交換を行う。	年に2回、施設運営協議会を開催する。	6月、2月 (全2回)
3	展示・広報事業	施設利用者や市民を対象に、日頃の活動の成果を発表する場の提供及び施設の情報提供を行う。	施設利用者や市民への展示ロビーの貸出し及び館報・サークル紹介作成などの広報事業を行う。	通年
4	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	生涯学習活動を支援するために、センターとの協働企画講座の実施を呼びかける。	生涯学習団体から次年度の協働企画講座を募集する。	通年
5	藁科生涯学習センター文化祭	藁科生涯学習センターの利用者に活動の成果の発表の場を提供することにより、活動の活性化を促す機会とする。	藁科生涯学習センター利用団体による、体験、社交ダンス、ステージ、展示の日頃の活動成果の発表を行う。	10/26、10/27
6	市との共催事業①	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	2月
7	市との共催事業②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	3月
8	財団連携事業①A O I	財団の管理するそれぞれの施設の専門性を活かした事業を実施し、文化振興を図る。	財団が管理運営する施設との連携講座を実施する。	9月 (全3回)
9	財団連携事業②美和	財団の管理するそれぞれの施設の専門性を活かした事業を実施し、文化振興を図る。	財団が管理運営する施設との連携講座を実施する。	5月～6月
10	藁科生涯学習センター利用者団体連絡会	利用者同士の相互交流と、生涯学習センター事業への協力援助、意思提案を求める会として実施する。	利用者団体連絡会総会、役員会、清掃活動。	通年 (全12回)
11	パソコン講座	現代の生活に必要な不可欠となっているパソコン操作を習得し、情報活用能力の幅を広げることを目的とする。	パソコン初心者を対象とした、パソコンの基本操作を習得する講座。	9月 (全4回)
12	子供太鼓教室	子供達に日本の伝統文化に触れてもらう機会の提供及び子供同士のコミュニケーションを図る機会とする。	小学生を対象に、和太鼓教室を開催する。最終回では太鼓サークルと合同で演奏会を行う。	7月～8月 (全6回)
13	藁科ぶらり歴史散策	藁科地域の歴史を探りながら散策することにより、健康増進を図るとともに、地域への理解を深める。	藁科地域の史跡を巡り、地元の歴史や伝承について学習する。	5月
14	四季の星座～春の夜空を眺めよう～	藁科地域で星を観察することで、季節のうつろいを感じ、自然に親しむ機会を提供する。	藁科の自然環境を活かし、春の星座を学ぶ。	5月11日
15	四季の星座～夏～	藁科地域で星を観察することで、季節のうつろいを感じ、自然に親しむ機会を提供する。	藁科の自然環境を活かし、夏の星座を学ぶ。	8月
16	四季の星座～秋～	藁科地域で星を観察することで、季節のうつろいを感じ、自然に親しむ機会を提供する。	藁科の自然環境を活かし、秋の星座を学ぶ。	11月
17	四季の星座～冬～	藁科地域で星を観察することで、季節のうつろいを感じ、自然に親しむ機会を提供する。	藁科の自然環境を活かし、冬の星座を学ぶ。	2月
18	畑講座	地元の畑で耕作体験をすることで、収穫の喜びを知り、地産地消について考える機会とする。	地元の畑で種まき、草取り、収穫までの一連の作業を体験する。	5月～12月 (全8回)
19	コンサート	地域の生涯学習センターでコンサートを開催することにより、藁科地域の文化芸術振興の一助とする。	NPO法人静岡県オーケストラスクールによる、大人から子供まで楽しめるクリスマスコンサート。	12月15日
20	親子料理講座	家族交流と食育を目的とした料理実習を行う。	親子で健康を考えた料理作りを行う。	7月～8月

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	環境関連講座	自分たちの住んでいる地域が現在どのような状態にあり、今後どのようにしていくべきなのかを考える機会とする。	地域の環境を探る講座。	7月～8月
22	夏休み英語体験 ALTとあそぼう	小学校でもALT教育を導入していることもあり、生涯学習センターでも異文化交流の機会を提供する。	ALT（外国語指導助手）と交流し、英語を学習する。	7月～8月 (全2回)
23	夏休み子ども美術講座	地域社会と学校教育の関わりを深め、子供の国際理解、異文化への関心を育む。	藁科地域で活動している芸術作家から、地域とコミュニケーションを主題とした作品作りを指導して頂く。	7月～8月 (全3回)
24	健康講演会	服織地区社会福祉推進協議会と連携し、地域住民の健康と街づくりを推進する。	服織地区社会福祉推進協議会と共催で、まちづくりと健康づくりに関する講演会を実施する。	7月
25	エコを考える講座	鍋帽子作りを行い、それを使用して料理作りを体験することにより、環境問題について考える機会とする。	静岡友の会を講師に、鍋帽子作りを行う。	9月～10月 (全3回)
26	子供自然体験	自然の中で親子の触れ合いを通して子どもの情操を養う。	小学生親子を対象に、藁科地域の自然を探索し、野外での活動を行う。	10月
27	山里の味とくらし	藁科地域の暮らしを再発見することにより、郷土愛を育み、地域活性化を図る。	藁科地域に伝わる昔ながらの料理や暮らしの知恵、伝承を学ぶ。	12月 (全2回)
28	防犯フェアin藁科	まちづくり活動の一環として、服織学区青少年健全育成会と共催で防犯啓蒙を図る。	防犯の誓いの言葉、少年サポート講演、豆まき大会等を実施する。	1月
29	中勘助関連事業	服織地区に縁のある人物を知り、その軌跡を学ぶとともに、地域に文化を継承していく。	服織地区に縁のある作家・中勘助に関する講座を実施する。	1月
30	お菓子作り	季節のデザートを使用し、お菓子作りを行うことにより季節の味を確かめる。	季節のデザートを使ったお菓子作り。	2月
31	市との共催事業③	藁科地域の防犯意識を高める。	地域の防犯についての講演会。	2月
32	読み聞かせ講座	親子の触れ合いの機会を増やすとともに、乳幼児の情操教育につなげる。	乳幼児とその保護者を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせや手遊び等を行う。	12月
33	伝統文化体験講座①（書道）	「書」を通じて、地域の世代間交流と活性化を目指す。	現在の書道教育についての講義及び実技。	11月～12月 (全5回)
34	異文化理解講座（中国語）	異文化を知ることによって多文化共生を考える機会とする。	異文化を知る講座。	1月～2月 (全5回)
35	地域の歴史講座（木枯らしの森）	藁科地域の歴史を探り、地域への理解を深め、郷土愛を深める。	地域の歴史を探る講座。	9月～10月
36	ものづくり講座①（木彫り）	木彫りの体験をすることにより、日本の伝統文化の良さを再確認する。	木彫りの体験をする。	9月～10月 (全4回)
37	ものづくり講座②（焼き物）	焼き物作りを体験し、日本の文化の良さを再確認する。	焼き物の製作体験。	4月～6月 (全3回)
38	古文書解読講座	歴史のあふれる藁科地域で古文書を解読する機会を提供する。	藁科図書館と共催で古文書解読講座を行う。	10月～11月 (全5回)
39	地理・歴史講座	藁科地域の地理や歴史に関する講座を行うことで、郷土に関する知識や愛着を深める。	藁科図書館と共催で地理と歴史に関する講座を行う。	2月 (全2回)
40	伝統文化体験講座②	日本の文化に関する講義又はものづくり。	日本の伝統的な文化を学び、日本の文化の素晴らしさを再確認する。	11月～12月 (全7回)

(大里生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学大里学級	高齢者向け総合学習講座。他分野の学習と仲間づくりを行う。	他分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目指す。	4月～3月 (全18回)
2	女性学級大里学級	自己発展を目指すとともに、学級生の仲間作りや地域活動の推進を図る。	女性を対象とした長期総合講座。	5月～3月 (全11回)
3	大里生涯学習センター運営協議会	地域に関わる方々から意見をいただき、充実した生涯学習センターの運営に活かす。	施設利用者や学校関係者などと施設運営に生かすための協議会。	7月、3月 (全2回)
4	展示・広報事業	センター利用者などの活動団体にむけて、発表の場を提供する。	2、3階の展示スペースをセンターのPRや活動団体による発表の場とする。	通年
5	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	活動団体と協働で行うことで、地域の活発な生涯学習活動を促進する。	生涯学習団体から広く企画を募り共同実施する。	9月
6	フィエスタ大里	大里中学校と保健福祉センターと協力して行い、複合施設への関心を高める。	大里複合施設のセンターまつり。	10月
7	市との共催事業	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	9月
8	市との共催事業	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	7月
9	市との共催事業	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	7月～8月
10	財団連携事業（音楽館）	市民に身近な生涯学習センターが窓口となることで、音楽館に親しみを持たせる。	音楽館と連携企画実施する音楽講座。	5月
11	財団連携事業（科学館）	市民に身近な生涯学習センターが窓口となることで、科学館に親しみを持たせる。	静岡科学館と連携企画実施する科学講座。	8月
12	財団連携事業（美術館）	市民に身近な生涯学習センターが窓口となることで、美術館に親しみを持たせる。	美術館と連携企画実施する美術講座。	11月
13	大里中学校吹奏楽コンサート	複合する大里中学校の吹奏楽部生徒に活動発表の場を提供するとともに、気軽に音楽に触れる機会を市民に提供する。	大里中学校吹奏楽部によるコンサート。	7月、2月 (全2回)
14	型絵染講座	人間国宝芹沢銈介と同じ染色技法を用いて型絵染めの製作をすることで、芹沢作品を理解し、親しむ。	芹沢銈介美術館と共催で行う染物講座。	4月～6月 (全6回)
15	人形劇あっぷっぷ公演	人形劇鑑賞で親子のふれあいを促進するとともに、生涯学習センターへの親しみを深める。	人形劇あっぷっぷによる人形劇の鑑賞。	5月～12月 (全3回)
16	利用団体との共催事業	利用団体の活動支援を行う。また、受講生同士の交流を図る。	利用団体と共催で行う講座。	4月～6月 (全3回)
17	利用団体との共催事業	利用団体の活動支援を行う。また、受講生同士の交流を図る。	利用団体と共催で行う軽運動講座。	5月～6月 (全3回)
18	大里園芸講座	身近な事柄から環境を意識させ、日常に活かす。	身近な植物を育てながら学ぶ環境学習講座。	5月～9月 (全5回)
19	健康医療講座	地域住民に正しい知識を得てもらい、安心して暮らせる地域づくりを目指す。	健康と医療について知識と理解を深める。	6月～冬 (全6回)
20	むかしあそび	小さな子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層のふれあいの場とする。	地域のお年寄りから昔の遊びを教わり一緒に遊ぶ。	6月

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	書を楽しむ	書道を通し、受講者同士の交流を図る。	書道を気軽に楽しむ方法を学ぶ。	7月～8月 (全5回)
22	科学教室	科学技術に対する体験型・対話型の学習活動を通して理科・科学の楽しさを伝える。	身近な物をテーマに科学実験を行う。	8月、11月 (全2回)
23	中学生がサポート！初心者向けパソコン	中学生のボランティア意識を育てるとともに、幅広い年齢層の市民との活発な交流を図る。	大里中学校と共催で行う初心者向けのパソコン講座。	8月
24	静岡の特産品	静岡の特産品を再確認することで、静岡の良さを再発見する。	静岡の特産品を紹介する講座。	9月
25	蕎麦栽培から始める蕎麦打ち講座	作物を育てることの楽しみや自然を相手にすることの大切さを知るきっかけとし、地域の世代間交流の場とする。	大里中学校との共催講座。蕎麦栽培からはじめ蕎麦打ち体験を行なう。	9月～12月 (全4回)
26	子育て講座	乳幼児をもつ親のリフレッシュと仲間作りの場を提供する。	乳幼児親子を対象とした家庭教育講座。	10月～12月 (全5回)
27	版画講座	日本の伝統文化の価値を見直すと共に、仲間作りを行なう。	版画づくりを行う。	10月～12月 (全5回)
28	パネル展	パネルを通して、自然や環境等の意識を高める。	パネル展の開催。	10月
29	思春期講座	大里複合施設3者で行うことで家庭教育環境向上に寄与する。	大里複合施設3者で行う、思春期の心と体についての講演会。	11月
30	利用団体との共催事業	利用団体の活動支援を行う。また、受講者同士の交流を図る。	利用団体と共催で行う講座。	11月
31	クリスマス料理講座	料理を通じて季節感を味わってもらおうと共に、食の安全を学ぶ。	季節に合わせた料理講座を展開し、食についての講義も行う。	12月
32	静岡ガスとの共催事業	調理実習を通じて、食について学び仲間作りと交流を図る。	現代的課題に配慮し、市民のニーズの高い料理講座を行う。	12月 (全2回)
33	高校生と楽しむマンドリン	高校生のボランティア意識を育てると共に、市民が気軽に音楽を楽しめる機会とする。	静岡東高校マンドリン部によるクリスマスコンサート。	12月
34	歴史講座	地域の歴史や文化を学ぶと共に、郷土愛を図る。	歴史講演会の開催。	1月
35	環境講座	自然や環境に対して意識を高めると共に、受講者同士の交流を図る。	現代的課題に配慮し、市民のニーズの高い環境講座を行う。	1月
36	伝統工芸工作講座(木目込)	日本の伝統文化の価値を見直すと共に、仲間作りを行なう。	木目込み人形をつくり、仲間作りを行なう。	1月 (全3回)
37	お菓子作り講座	お菓子作りの楽しさを味わってもらおうと共に、仲間同士の交流を図る。	家庭でも手軽にできるお菓子作り講座を行う。	2月 (全3回)
38	文化・教養講座	市民団体と協力して行う事で、大里生涯学習センターへの理解を深める。	現代的課題に配慮し、市民のニーズの高い教養講座を行う。	2月
39	文化・教養講座	市民団体と協力して行う事で、大里生涯学習センターへの理解を深める。	現代的課題に配慮し、市民のニーズの高い教養講座を行う。	2月
40	教育相談事業	地域子ども達を地域で守り育てる。	大里中学と共催で行う地域家庭教育講座。	通年
41	地域活性化事業	大里複合施設を中心とした地域全体の活性化とまちづくりに寄与する。	大里複合施設を中心としたまちづくり講座。幅広い分野の講演会や体験会。	通年 (全5回)

(西奈生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学西奈学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目指す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	通年 (全18回)
2	西奈生涯学習センター運営協議会	委員より施設運営に関する提案及び助言を受けることで、健全な施設運営の確保を目指す。	利用者等により構成される施設運営委員会を設け、施設運営に関する協議を行う。	6月、3月 (全2回)
3	展示・広報事業	施設の活動及び利用者の活動成果を発表する機会を設けることで、地域における生涯学習活動の促進を図る。	施設広報誌の作成及び配布と、展示ロビーを利用者の成果発表の場として提供する。	通年 (全12回)
4	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	生涯学習団体の活性化を図るとともに、指導者としての役割を担える人材を育成する。	生涯学習団体と協働企画運営する講座の案を募る。	7月～12月
5	にしな文化祭	生涯学習団体の活動成果の発表の場とすることで、地域における生涯学習活動の促進及び団体と市民との交流を促進する。	生涯学習団体による活動成果の発表会を実施する。	11月
6	市との共催事業	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	夏
7	市との共催事業	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	秋
8	市との共催事業	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸造と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	冬 (全2回)
9	財団連携事業①	文化芸術の分野における専門性の高い知識を提供することで、地域における文化芸術の振興に寄与する。	財団が指定管理を受託している施設と連携事業を実施する。	夏 (全2回)
10	財団連携事業②	文化芸術の分野における専門性の高い知識を提供することで、地域における文化芸術の振興に寄与する。	財団が指定管理を受託している施設と連携事業を実施する。	秋
11	協働企画運営講座①	生涯学習団体の活動を周知させる場とすることで、地域における生涯学習活動の促進を図る。	生涯学習団体と協働企画運営する講座を実施する。	秋 (全4回)
12	協働企画運営講座②	生涯学習団体の活動を周知させる場とすることで、地域における生涯学習活動の促進を図る。	生涯学習団体と協働企画運営する講座を実施する。	冬 (全4回)
13	パソコン講座	情報社会において必要とされる技能を習得する場とすることで、市民の社会参加を推進する。	パソコンの操作方法について学ぶ講座を実施する。	5月～2月 (全10回)
14	古文書研究会による講演会	地域の歴史について調査及び発信することで、地域における歴史文化の振興とともに地域住民の学習意欲の向上を図る。	地域に残された古文書等を調査及び研究し、その成果を発表するとともに冊子にまとめる。	2月 (全2回)
15	歴史講演会	生涯学習団体の事業企画を採用し実施することで、地域における生涯学習活動に関する人材の育成に寄与する。	歴史に関する講演会を実施する。	5月
16	平和教育推進講座	戦争に関する資料を紹介することで、平和に対する理解を向上させ、地域社会の健全な発展に寄与する。	戦争や平和を啓発する講座を実施する。	8月
17	近隣の学校による演奏会	地域住民に気軽に音楽を鑑賞できる機会を提供することで、地域における音楽文化の振興に寄与する。	近隣の高校の吹奏楽部による演奏会を実施する。	9月
18	ジャズ講座	地域住民にジャズについての知識を深める機会を提供することで、地域における音楽文化の振興に寄与する。	ジャズに関する知識の講演及び演奏を実施する。	9月 (全6回)
19	常葉短大英語英文科による児童向け英語講座	学生の事業企画を採用し実施することで、生涯学習指導者の育成に寄与する。	児童が遊びや挨拶を通じて外国語を学ぶ講座を実施する。	7月～12月 (全6回)
20	子ども向け自然体験講座①	地域の自然環境に触れる機会を提供することで、地域の魅力を再発見させるとともに環境保護に対する意識の向上を図る。	近隣の森林において、動植物の観察等を行う体験講座を実施する。	春、夏 (全3回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	子ども向け自然体験講座②	地域の自然環境に触れる機会を提供することで、地域の魅力を再発見させるとともに環境保護に対する意識の向上を図る。	近隣の河川等において、動植物の観察等を行う体験講座を実施する。	秋、冬 (全3回)
22	山歩き講座	地域の自然環境に触れる機会を提供することで、地域の魅力を再発見させるとともに、環境保護に対する意識の向上を図る。	山歩きに関する基礎知識を学ぶ座学と、近隣の山を歩く実技を実施する。	10月 (全4回)
23	若者向けダンス講座	集団で身体を動かす機会を提供することで、健康促進とともに受講者同士のコミュニティの創出を図る。	若年層向けの音楽や動きを取り入れたダンスのワークショップを実施する。	2月 (全4回)
24	木版画講座	芸術作品を制作する機会を提供することで、地域の芸術文化の振興に寄与する。	木版画の制作方法を紹介する。	12月 (全4回)
25	コーヒーの淹れ方講座①	コーヒーの淹れ方についての知識を提供することで、接客についての知識の向上を図る。	コーヒーの淹れ方や、そのマナー等について学ぶ講座を実施する。	6月 (全3回)
26	コーヒーの淹れ方講座②	コーヒーの淹れ方についての知識を提供することで、接客についての知識の向上を図る。	コーヒーの淹れ方や、そのマナー等について学ぶ講座を実施する。	9月 (全3回)
27	外国語及び異文化学習講座	異文化に触れる機会を提供することで、国際理解の促進を図る。	海外の生活習慣や言語を習得する講座を実施する。	9月 (全4回)
28	料理講座①	家庭で実践できる調理方法を紹介することで、食生活を見直す機会を提供する。	料理実習を実施する。	5月 (全3回)
29	料理講座②	家庭で実践できる調理方法を紹介することで、食生活を見直す機会を提供する。	料理実習を実施する。	2月 (全3回)
30	団体育成講座①	生涯学習団体の立ち上げと育成を補助する場とすることで、地域における生涯学習活動の促進と人材の育成に寄与する。	団体の発足及び育成を目標とした講座を実施する。	秋 (全4回)
31	団体育成講座②	生涯学習団体の立ち上げと育成を補助する場とすることで、地域における生涯学習活動の促進と人材の育成に寄与する。	団体の発足及び育成を目標とした講座を実施する。	冬 (全4回)
32	地域の生活文化を学ぶ講座	地域の生活文化に触れる機会を提供することで、地域の魅力を再発見させるとともに、地域の文化に対する意識の向上を図る。	地域の史跡等を巡る講座を実施する。	10月
33	昔遊び伝承講座	異なる世代が互いの生活文化や価値観を共有する場とすることで、世代間交流の促進を図る。	高齢者層が若年層に対して昔の遊び方を紹介するために、その手法を学ぶ講座を実施する。	10月～11月 (全4回)
34	男性向け料理講座	男性に料理をする機会を提供することで、男性の家事参加の促進を図る。	男性を対象とした料理実習を実施する。	12月 (全2回)
35	近隣大学との共催講座	学生の事業企画を採用し実施することで、生涯学習指導者の育成に寄与する。	大学生と協働企画運営する事業を実施する。	秋
36	サッカー(エスパルス)に関するスポーツ文化学習講座	スポーツの分野における知識を提供することで、地域におけるスポーツ文化の振興に寄与する。	サッカー(エスパルス)を主としたスポーツに関する講演会等を実施する。	6月
37	夏休み子ども向け講座	児童の創造性を育む機会を提供することで、児童の健全な育成に寄与する。	夏季において、子どもに対し、工作等の講座を実施する。	夏 (全2回)
38	西奈図書館との共催講座	地域住民に本に親しむ機会を提供することで、青少年の健全な育成に寄与する。	西奈図書館と共催で事業を実施する。	2月
39	瀬名地域と徳川家に関する講座	地域の歴史文化に触れる機会を提供することで、地域の魅力を再発見させるとともに、歴史文化に対する意識の向上を図る。	地域の歴史と徳川家のつながりを学ぶ講座を実施する。	11月 (全2回)
40	成人向け地域観察講座	地域の自然環境に触れる機会を提供することで、地域の魅力を再発見させるとともに、環境保護に対する意識の向上を図る。	成人に対し、地域の自然資源を利用した講座を実施する。	4月、5月 (全2回)

(駿河生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学小鹿学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目指す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	5月～3月 (全18回)
2	駿河生涯学習センター運営協議会	地域に根差した館の健全な運営の確保。	第三者委員に館の運営についての意見を求める。	春、秋 (全2回)
3	展示・広報事業	情報提供及び広報。	施設案内広報紙の作成・配布及びロビーにおける展示活動。	通年
4	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	生涯学習団体の活性化を図るとともに、指導者としての役割を担える人材を育成する。	生涯学習団体と協働企画運営する事業の案を募る。	夏
5	来・て・こ祭	地域団体との連携強化、利用団体の学習成果発表の場の提供と利用者間交流及びセンター広報。	全施設を市民に公開。地域団体との協働事業を開催する。	12月14日
6	市との共催事業①	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	5月
7	市との共催事業②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	6月
8	市との共催事業③	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	7月
9	市との共催事業④	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	8月
10	市との共催事業⑤	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	9月
11	知れば納得！暮らしの税	静岡税務署と協働で行政課題の解決を図る。	生活に関わる税と、税の仕組みについて学ぶ。	4月、6月
12	こどもセミ調査隊	財団内の連携を強化し、文化、芸術振興の推進を図る。	財団内の連携事業。	8月
13	市美展覧会	財団内の連携を強化し、文化、芸術振興の推進を図る。	財団内の連携事業。	12月
14	静岡科学館連携事業	財団内の連携を強化し、文化、芸術振興の推進を図る。	財団内の連携事業。	8月
15	財団連携事業④	財団内の連携を強化し、文化、芸術振興の推進を図る。	財団内の連携事業。	2月
16	財団連携事業⑤	財団内の連携を強化し、文化、芸術振興の推進を図る。	財団内の連携事業。	3月
17	ホタル講座	地域環境保全意識の向上。	ホタルの飼育や観察会、生態系に関する講義を行う。	6月～9月 (全6回)
18	父と子のための親子造形講座	男女共同参画社会の推進を図る。	父子を対象とした親子講座。	7月
19	パソコン講座	市民の情報機器の活用を図る。	初心者向けパソコン学習講座。	10月 (全4回)
20	子育て相談講座	子育て支援と仲間作りの促進。	乳幼児の子どもを持つ母親を対象に、カウンセリングやディスカッションを行う。	6月～7月 (全6回)
21	地域教育機関との共催事業①	地域教育機関との連携強化と青少年の文化活動の推進。	地域の教育機関との共催講座。	8月

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
22	地域教育機関との共催事業②	地域教育機関との連携強化と青少年の文化活動の推進。	地域の教育機関との共催講座。	1月
23	地産地消料理講座①	地産食材を用いることにより地域の魅力を喚起すると共に、新規料理サークルの立ち上げと学習支援を図る。	地産地消をテーマとした料理講座。	6月 (全3回)
24	地産地消料理講座②	地産食材を用いることにより地域の魅力を喚起すると共に、新規料理サークルの立ち上げと学習支援を図る。	地産地消をテーマとした料理講座。	12月 (全3回)
25	地域防災講座	防災意識の向上と知識の習得を図る。	地震災害発生時の避難方法や日常防災について学ぶ。	9月
26	はじめてのリメイク講座	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業の推進及び環境保全意識の向上。	古着の再生方法を学ぶ。	10月 (全4回)
27	こどもダンス講座	子どもの健全な心身の育成。	子どもを対象としたダンス講座。	9～11月 (全6回)
28	こども図工講座	ものづくりを通し、子どもの創造性を養い、健全な育成を促す。	子どもを対象とした絵画や工作講座。	7月～8月 (全4回)
29	シニアの為の体力アップ講座	高齢者の健康増進。	高齢者を対象とし、身体測定や軽運動を行う。	5/14～7/23 (全6回)
30	はじめての韓国語講座	国際相互理解の促進。	異言語、異文化に対する知識を深める講座の実施。	4/21～6/1 (全6回)
31	ベビーサイン	地域で活躍する人材を育成し、子育て支援と仲間作りの促進を図る。	乳幼児とのコミュニケーションを図る手法を学ぶ。	5/24～7/5 (全2回)
32	子育て団体との共催事業	市民団体の人材を育成し、男女共同参画社会の形成を推進する。	地域で活躍する子育て団体による子育て支援講座。	9月 (全2回)
33	伝統工芸品製作体験	地域の伝統文化を再評価し、文化財保護意識の喚起と未来への継承を図る。	地域の伝統工芸品を制作する。	11月 (全3回)
34	四季折々自然を楽しむ暮らし	講座を通し、自然環境の保護や整備の推進を図る。	もの作りから、自然を楽しみ、環境について考える。	5/16～8/22 (全3回)
35	静岡大学アウトリーチ研究会コンサート	地域教育機関との連携による青少年の文化活動の推進。	静岡大学の学生と協働企画運営し、コンサートを開催する。	11月
36	地域ふれあいコンサート	地域で活躍する人材を育成し、文化及び芸術の振興を図る。	地域で活動する演奏団体によるコンサート。	6月
37	はじめて読む古文書入門講座	地域文化を再評価し、文化財保護意識の喚起と未来への継承を図る。	初心者を対象に、地域にまつわる古文書の読み方を基礎から学ぶ。	秋 (全5回)
38	おはなしフォーラム	地域で活躍する人材を育成し、文化及び芸術の振興を図る。	市内で活動する読書活動推進団体が集結し、日頃の学習成果を発表する。	春
39	来・て・こ おはなしの森	地域で活躍する人材を育成し、文化及び芸術の振興を図る。	市内で活動する読書活動推進団体が絵本の読み聞かせや手遊びを行う。	6月～11月 (全6回)
40	郷土史講座	地域の伝統文化を再評価し、文化財保護意識の喚起と未来への継承を図る。	地域の歴史を学ぶ。	7月 (全3回)
41	保険講座	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、一般消費者の利益の擁護を図る。	自然災害による経済的な損失に備えるための保険の種類や補償内容を学ぶ。	4月 (全3回)
42	家事家計講習会	市民団体との連携強化及び市民生活の見直しと改善を図る。	家計簿のつけ方を通して、家事家計を学習する。	11月
43	マネープランと資産運用	市民団体の持つ専門性を活かした協働事業を推進し、一般消費者の利益の擁護を図る。	暮らしを振り返り、将来へ向けて計画的な資産運用を行うための基礎知識を習得する。	1月 (全3回)

(南部勤労者福祉センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	勤労者のためのパソコン講座 ①ワード入門 ②ワード中級 ③エクセル入門 ④エクセル中級 ⑤アクセス入門 ⑥パワーポイント入門 ⑦パワーポイントビジネス活用 ⑧初心者のためのパソコン入門	勤労者のパソコン技術の向上を図る。	パソコンの基礎から、オフィスソフトの使用方法、活用法について学ぶ。初級者、中級者を対象としたパソコン講座。	年間
2	フィットネススクール ①入門エアロ木曜コース ②初級エアロ月曜コース ③初級エアロ土曜コース ④中級エアロ水曜コース ⑤ヨガ火曜コース ⑥ヨガ水曜コース ⑦ヨガ金曜コース	勤労者の健康増進、体力向上、心身の安定を図る。	初級者、中級者を対象としたエアロビクス、ヨガ講座。	年間
3	トレーニングインストラクター指導業務	勤労者の効果的な健康づくりを推進する。	トレーニングインストラクターが、器具の使用方法、トレーニングの指導・相談にあたる。	年間 (全150回)
4	健康スポーツ体験祭り	勤労者の健康意識の向上及びセンター広報。	施設を市民に公開し、施設の利用体験、地域団体との協力による健康まつり。	12月
5	ウォーキング講座	勤労者の健康増進、体力向上を図る。	正しい姿勢と歩き方を学ぶ。	5月～7月 (全8回)
6	ストレッチ講座	勤労者の健康増進、心身の安定を図る。	正しい筋肉の使い方、ストレッチを学ぶ。	9月～11月 (全10回)
7	ビジネススキルアップ講座	勤労者の資質向上を図る。	ビジネスマナー、会話術などを学ぶ。	1月 (全4回)
8	スマートフォン活用講座	勤労者の情報活用能力の向上を図る。	スマートフォンの使用方法を学ぶ。	6月 (全2回)
9	パソコン相談室	地域団体との連携強化、勤労者のパソコン技術の向上を図る。	初心者を対象にパソコン操作の疑問、質問にアドバイスを行う。	年間 (全12回)

(小鹿老人福祉センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	太極拳講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	太極拳の型や呼吸法を学び、心身の健康を促す。	4月～9月 (全12回)
2	将棋講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	将棋のルールや歴史の講義と、実戦形式の対局を行う。	4月～9月 (全12回)
3	健康体操講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	音楽のリズムに合わせて体を動かす。マットやボールを使ったエクササイズを行う。	4月～9月 (全12回)
4	民謡講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	民謡の学習を通して伝統芸能の普及を促すとともに、発声による健康促進を行う。	4月～9月 (全12回)
5	はじめてのパソコン(XP)前期	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	windows XPを使い、簡単な文字入力からインターネットの閲覧、メールの作成等を行う。	4月～6月 (全12回)
6	はじめてのパソコン(VISTA)前期	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	windows VISTAを使い、簡単な文字入力からインターネットの閲覧、メールの作成等を行う。	4月～6月 (全12回)
7	墨絵講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	筆づくり、墨の濃淡の基本を学び墨絵作品を制作する。	10月～3月 (全12回)
8	実用書道講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	日常生活のさまざまな場面で役立つ実用的な書き方を学ぶ。	10月～3月 (全12回)
9	編物講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	小物からマフラー等まで、受講者のペースに合わせて編物作品を制作する。	10月～3月 (全12回)
10	囲碁講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	囲碁のルールを学び、受講者同士で対局し囲碁の魅力に触れてもらう。	10月～3月 (全12回)
11	ちぎり絵講座	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	12回の講座で9作のちぎり絵を制作する。	10月～3月 (全12回)
12	はじめてのパソコン(XP)後期	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	windows XPを使い、簡単な文字入力からインターネットの閲覧、メールの作成等を行う。	10月～12月 (全12回)
13	はじめてのパソコン(VISTA)後期	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	windows VISTAを使い、簡単な文字入力からインターネットの閲覧、メールの作成等を行う。	10月～12月 (全12回)
14	映画鑑賞講座	静岡にゆかりのある映画を通して郷土の魅力の再発見及びより深い愛着を促す。	高齢者にとって馴染みのある昭和に撮影された邦画を中心に、静岡にゆかりのある映画の紹介、解説をする。	6月
15	たむ人形作り	高齢者の生涯学習支援及び学習を通じた仲間づくりの場の提供。	予め完成している翌年の干支の張子人形に絵付けを施し、作品を完成させる。	11月
16	健康講座	健康問題や福祉制度についての知識を深め、高齢者福祉の向上に寄与する。	地域包括支援センターに専門の講師や職員の派遣を依頼し、各種説明会を行う。	1月 (全2回)
17	コンサート	音楽を通じた高齢者と学生及び地域団体との世代間交流。	地域の学校の吹奏楽部等によるブラスバンド演奏。	2月
18	同好会活動発表会	利用団体の日頃の活動成果の発表の場を設けるとともに、高齢者の生きがい作りの促進とセンターの活性化を図る。	小鹿老人福祉センターを一般に開放し、参加利用団体が大広間等で日頃の活動成果を発表する。	12月
19	作品展示	高齢者の生涯学習支援、生きがい作り。	作品展示希望団体を募り、月毎に館内展示を行う。	通年
20	小鹿だより	情報提供及び広報。	広報紙「小鹿だより」を毎月1500部発行、及びホームページへの掲載。	通年

(美和生涯学習センター)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	高齢者学級みのり大学美和学級	多分野の学習を通して受講者同士の交流を図るとともに社会参画を推進し、自らの生きがい創造を目差す。	高齢者向け総合学習講座。多分野の学習と仲間づくりを行う。	通年 (全18回)
2	北部生涯学習センター美和分館運営協議会	地域に密着した運営を図るための情報交換を図る。	事業計画や報告を行い、施設の運営についての意見を伺う。	通年 (全2回)
3	展示・広報事業	施設利用者をはじめ町内会などへの情報発信の拠点とすることで施設の利用拡充を図る。	施設の案内や作品展などによる情報提供を行う。	通年
4	生涯学習団体との協働企画運営講座公募事業	団体から共催事業を公募することで、活動の活性化や人材育成を図り、施設利用を促進させる。	26年度事業を対象に施設利用団体へ協働企画運営講座の公募を行う。	6月～9月
5	アカデ美和まつり	地域と連携した事業を促進し、まちづくり事業の一助とする。また、施設のPRと利用促進を図る。	もちつき大会やお茶席、模擬店、体験コーナーなどを実施する。	12月
6	市との共催事業①	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	8月
7	市との共催事業②	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	3月
8	市との共催事業③	行政課題等への市の取り組みを周知し、理解醸成と課題解決を図る。	市担当課と行政課題を扱った事業を行う。	5月
9	財団連携事業①(藁科)	財団が持つ専門性を活かした事業を実施し、文化振興の充実を図る。	財団内での連携事業を行う。	6月
10	財団連携事業②(科学館・セミのぬけがら)	財団が持つ専門性を活かした事業を実施し、文化振興の充実を図る。	財団内での連携事業を行う。	8月
11	社交ダンス講座	社交ダンスを通じて心身の活性化・健康増進を図るとともに、利用者団体の活性化を促進する。	社交ダンスの基礎を学ぶ。	4月 (全5回)
12	気功術講座	気功術を通じて心身の活性化・健康増進を図るとともに、利用者団体の活性化を促進する。	気功の基礎知識の講義と気功の技術習得。	4月 (全5回)
13	暮らしのヒント	掃除、洗濯、収納などさまざまな視点から住まいの環境を考える機会を提供する。	さまざまな視点から暮らしをより楽しむためのヒントを学ぶ。	5月 (全3回)
14	本山茶手もみ体験	地域の特産品(茶)をPRすることで美和地域への親しみを深める。また、静岡が誇る茶文化を見直す機会とする。	本山茶の手もみ体験、試飲、製茶工場の見学を行う。	5月
15	高齢者健康体操	高齢者向けの健康体操を通じて心身の活性化・健康増進を図るとともに、利用者団体の活性化を促進する。	高齢者対象の健康体操を行う。	5月 (全5回)
16	子ども厨房	食育に対する意識向上を図るとともに、実習をすることで協調性を養う。	小学生対象の料理講座を行う。	6月
17	骨盤体操講座	健康講座や骨盤体操を通じて正しい姿勢を学び、生活習慣の改善を図る。	カイロプラクティックの考え方をもとにした健康講座や骨盤体操などを行う。	6月 (全3回)
18	パン作り講座	パン作りを通じて、手作り料理への関心を高め、参加者同士の交流を図る。	パン作りを行う。	6月 (全2回)
19	キッズ・ダンス	自己表現することの楽しさを知ると共に、コミュニケーション能力の向上を図り、社会への適応力を身につける。	子どもを対象にダンスの基礎を学ぶ。	7月 (全5回)
20	異国料理体験講座	料理実習を通じて、異文化に触れる機会を提供する。	異国の料理作りに挑戦する。	7月 (全2回)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
21	親子向け体操講座	親子で行うことのできる体操を通じて心身のリフレッシュを図り、健康増進を図る。	親子で行える体操を学ぶ。	7月 (全3回)
22	初級パソコン講座	地域団体と学生ボランティアのサポートによるパソコン講座を通じて、異世代間の交流を図り、相互理解を得る。	パソコン初心者を対象としたパソコン実技講座の実施。	8月 (全2回)
23	地域ふれあい交流会	高齢者と子どもの交流会を行うことで、異世代間のコミュニケーションと地域の活性化を図る。	高齢者と子どもの交流を図るためのレクリエーションや発表会などを実施する。	8月 (全2回)
24	美和児童館との共催事業	児童の健全な育成に寄与すると共に、世代を超えた交流の場とする。	美和児童館と共催で事業を実施する。	8月 (全2回)
25	日本料理講座	日本料理作りを通じて日本の伝統的な味を学ぶとともに、地域の商店を活用し、まちづくりの活性化を図る。	日本料理作りを行う。	10月 (全2回)
26	レディ・レッスン	様々なジャンルを学ぶことにより、女性がいきいきと活動できるきっかけを創出する。	成人女性を対象に、さまざまな観点から学ぶ。	9月 (全4回)
27	伝統工芸講座	昔ながらの伝統技法を学ぶことで日本の文化に親しむ。	伝統技法を学ぶ。	10月 (全4回)
28	文学講座	文学に親しむ機会を創出する。	文学講座の実施。	9月～10月 (全5回)
29	歴史講座	日本の歴史を学ぶ機会を提供する。	主に郷土の歴史を学ぶ。	10月 (全3回)
30	星座・彗星講座	天体観測を通じて自然の雄大さを体感するとともに、地域の自然環境に対する意識を高める。	星やギリシャ神話の話と屋外での天体観測を行う。	11月
31	科学コミュニケーター活用講座	財団が持つ専門性を活かした事業を実施し、自然科学への興味関心を高める。	静岡科学館との連携事業として、科学コミュニケーターを活用した講座を実施する。	11月～12月 (全3回)
32	地域ふれあい発表会	施設利用者団体や地域の団体との協働事業を通じて親睦を図る。	地域の老人会や自治会、利用者団体の活動成果をステージで発表する。	12月
33	美和の食卓	地産地消を推進するとともに食生活を見直す機会を提供する。	地元で採れた新鮮な食材を使って料理実習を行う。	12月 (全2回)
34	陶芸（美和焼）体験講座	地域の人材を活用した事業を行うことで、まちづくりを推進する。	美和焼の陶芸作品を作るとともに作品展を実施する。	12月～1月 (全3回)
35	異文化交流	異文化を学ぶことで、多文化共生への関心・理解を深める。	異文化を学ぶ。	1月 (全3回)
36	ヨガ講座	ヨガを通して心身の健康増進を図ると共に、運動することの大切さを知る機会を提供する。	ヨガによる呼吸法とエクササイズを行う。	1月 (全5回)
37	男料理	男性対象の料理講座を実施することで、男女共同参画を推進する。	男性を対象とした料理講座の実施。	2月 (全3回)
38	茶道講座	日本の伝統文化に触れる機会を提供する。	茶道を学ぶ。	2月 (全2回)
39	歴史ウォーキング	郷土の歴史を学ぶとともにウォーキングをすることで、より地域を身近に感じられる機会を提供する。	郷土史を学びながら地域を散策する。	2月
40	わくわく劇場	観劇を通して、人々の豊かな感受性を育み、施設の活性化と地域づくりを図る。	幅広い世代に親しまれる演目を行う。	3月

(静岡市美術館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	藤田嗣治 渡仏100周年記念 レオナルド・フジタとパリ 1913-1931	日頃見る機会の少ない在外作品を中心に、市民ニーズの高い作家の良質な美術作品の鑑賞機会を提供することで、市民の文化的関心に応え、美術に親しむ市民層の育成を図る。	藤田嗣治の渡仏100周年を記念し、藤田の初期パリ時代（1913～31年）に焦点をあてる展覧会。油彩画約30点、水彩・素描など約30点に加え、藤田と交友のあったエコール・ド・パリなどの作家たちの作品や資料など約80点を展示。	平成25年4月20日(土)～6月23日(日)
2	オディロン・ルドン 夢の起源 幻想のふるさと、ボルドーから (仮)	日本ではあまり知られていない美術作家や作品、在外の作品により、最新の研究を踏まえた良質な展覧会を実施することで、市民の知的関心に応え、美術に親しむ市民層の育成を図る。	象徴主義の中でも幻想的で特異なヴィジョンで知られるルドンを、生地のボルドー美術館と、世界的にも充実したルドンコレクションで知られる岐阜県美術館の所蔵品を中心に約80点で紹介する。	平成25年6月29日(土)～8月25日(日)
3	はじめての美術 絵本原画の世界2013	全国公立美術館4館の共同企画に参画し、子どもから大人まで楽しめる、親しみやすい展覧会を開催することで、美術に親しむ市民層の育成を図る。	『こどものとも』（1956年創刊／福音館書店）など、宮城県美術館所蔵の絵本原画約500タイトル1万点のなかから、50タイトル300点余りを精選し展示。絵本原画の魅力と楽しさを子どもから大人まで幅広く紹介する。	平成25年9月14日(土)～10月27日(日)
4	徳川家康公顕彰四百年記念事業 没後100年 徳川慶喜展	静岡の歴史、美術に関する調査研究の成果を踏まえ、自主企画展を実施することで、市民に豊かな静岡文化を紹介し、芸術文化に親しむ市民層の育成を図る。展覧会図録を刊行し、静岡文化を広く全国に向け発信する。	徳川慶喜の没後100周年を記念した展覧会で、松戸市戸定歴史館との共同企画。美術館独自の観点から、慶喜の写真家として油彩画家としての一面を美術史的に考察し、多才な人間像を浮き彫りにする。	平成25年11月2日(土)～12月15日(日)
5	シャガール展	日頃見る機会の少ない在外作品を中心に、市民ニーズの高い作家の良質な美術作品の鑑賞機会を提供することで、市民の文化的関心に応え、美術に親しむ市民層の育成を図る。	油彩や版画だけでなく、パリ・オペラ座の天井壁画や舞台衣装、ステンドグラス、陶芸、彫刻、タピスリーなどを展示。総合芸術家としてのシャガールの全貌を紹介する。	平成26年1月2日(木・祝)～3月30日(日)
6	ミュージアム教室	児童、生徒及び学生に対して学芸員が解説を行い、展覧会や作品への理解を深め、美術に対する興味関心を喚起し、次世代の文化の担い手の育成、文化の受容層の拡充に寄与する。	各種学校からの団体を対象に、各展覧会の内容を学芸員がわかりやすく解説する鑑賞教室。一般開館前の午前9時から10時の時間帯を中心に、幼稚園から小中高等学校、大学等に広く利用を呼びかけている。	随時
7	展示解説	学芸員が展示解説を行い、市民の展覧会や作品への理解を深め、さらなる興味関心を喚起し、美術に親しむ層を育成する。	生涯学習センターの各種講座等、社会教育施設からの団体を対象に、各展覧会の内容を学芸員がわかりやすく解説する鑑賞教室。一般開館前の午前9時から10時の時間帯を中心に受け入れている。	随時
8	関連事業－ギャラリートーク	学芸員が展示解説を行い、市民の展覧会や作品への理解を深め、さらなる興味関心を喚起し、美術に親しむ層を育成する。	展覧会に対する理解を深めるため、展覧会担当学芸員が展示解説を行う。展覧会の内容により、親子向けギャラリートーク等も実施。	各展覧会毎 (全10回)
9	関連事業－講演会事業	参加者に対して展覧会等に関する知識を普及し、美術に関する理解の深化や興味関心を喚起する。	外部講師等による展覧会テーマにちなんだ講演会。	各展覧会毎 (全5回)
10	関連事業－コンサート事業	“音楽”という切り口から、美術館への来館を促し、新たな美術文化の受容層の拡充を図る。また、美術館という空間でコンサートを実施することにより、市民の展覧会、作品等に対するさらなる興味関心を喚起する。	展覧会テーマにちなんだコンサート。	各展覧会随時
11	関連事業－制作等ワークショップ	展覧会テーマにちなんだ体験プログラムを提供することで、作品や作家に対する興味関心を喚起する。	展覧会テーマにちなんだ制作等ワークショップ。	各展覧回随時
12	交流事業－展示事業 Shizubiproject (未定)	誰もが無料で気軽に立ち寄れる“交流ゾーン”で開催することで、市民に“偶然に”現代の多様な表現に出会う機会を提供し、芸術文化に対する興味関心を喚起する。また、展覧会図録の刊行により、事業を一過性のものとせず、より広域的な当該事業の発信にも寄与する。	交流ゾーン（主に、エントランスホール、多目的室）の特性を活かした、現代のアートシーンを紹介する展示の実施及び展覧会図録の刊行。	夏、冬
13	交流事業－共同事業 Kids Art Project Shizuoka	次代を担う小学生に「感性を磨く場」を提供するため、小学生専用の美術館・博物館パスポートの製作、ワークショップ、アウトリーチ活動等を行い、学校や保護者に向けた情報発信を行うことで、市民の美術に対する興味関心の向上に寄与する。	静岡県立美術館、静岡市美術館、芹沢銈介美術館、東海道広重美術館、フェルケール博物館、駿府博物館の6館に、静岡市教育委員会及び静岡市校長会等が加わった「Kids Art Project Shizuoka実行委員会」に参画し、事業の展開に協力する。	通年

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
14	交流事業－共同事業 静岡夏まつり夜店市参加	街中にある美術館として、商店街をはじめとする近隣地域との連携を図り、当館の存在を広く市民にPRし、美術館事業に関心を持つ市民層の拡充を図る。	紺屋町商店街の一員として、ブースを出展。美術館や展覧会を告知するため、オリジナルうちわ（展覧会PR用）の配布や前売券販売等を実施。	8月上旬
15	交流事業－コンサート事業	誰もが気軽に立ち寄れる“交流ゾーン”の特性を活かした事業として、“音楽”という切り口から、美術館への来館を促し、新たな美術文化の受容層の拡充を図る。	誰もが気軽に参加しやすいコンサートを交流ゾーンにて実施。	冬
16	交流事業－シネマ上映事業 Shizubiシネマ・アワー	誰もが気軽に立ち寄れる“交流ゾーン”の特性を活かした事業として、“映画”という切り口から美術館への来館を促し、美術館事業に関心を持つ市民層の拡充を図る。	主として、開催中の展覧会にちなんだテーマのアートフィルム等を2～3本程度上映。	春、夏、冬 (全5回)
17	交流事業－講演会事業 連続トークイベント 「ピーター・バラカンの音を見る。アートを聴く。」	誰もが気軽に立ち寄れる“交流ゾーン”の特性を活かした事業として、アートにちなんだトークイベントや講演会を実施し、美術館への新たな来館を促すとともに、市民の芸術文化に関する理解の深化や興味関心を喚起する。	誰もが興味をもちやすいテーマを設定し、外部講師等を招聘したトークイベントや講演会等を実施する。	冬 (全2回)
18	交流事業－ワークショップ事業 ワークショップシリーズ	美術館ならではのオリジナル創作体験プログラムを開発することで、広く市民に対して、鑑賞と創作の双方から美術に親しむ機会を提供し、次世代の文化の担い手の育成及び文化の受容層の拡充を図る。	記念日に合わせて、家族や大切な人へのプレゼントを作る「プレゼントワークショップ」シリーズ及び祭事や年中行事をとおして季節を感じ、それをかたちにする、「暦とあそぶワークショップ」シリーズ。	春、夏、秋、冬 (全4回)
19	交流事業－ワークショップ事業 しずびチビッコプログラム	子どもの成長の一助となる良質な体験や、ゆっくりとした鑑賞の機会を望む保護者の潜在的なニーズに応えるため、小さな頃から「アート」、また「美術館」に親しむ機会を提供し、文化の受容層の拡充を図る。	2歳以上の未就学児を対象とした「アート×保育」の独自アートプログラム。子どもたちに初めての美術館・アート体験の機会を与えるとともに、同伴する保護者には展覧会鑑賞の機会を提供する。	各展覧会毎 (全5回)
20	交流事業－ワークショップ事業 しずびオープンアトリエ	誰もが気軽に立ち寄れる“交流ゾーン”の特性を活かした事業として、来館者が展覧会の内容をより深めることのできる、創作体験の機会を提供し、次世代の文化の担い手の育成及び文化の受容層の拡充を図る。	指導員やボランティアを導入し、夏休みや春休みの時期に合わせて10日程度連日開催するワークショップ。展覧会内容に即したキットを独自開発し、短時間で制作できる体験プログラムを提供。	夏、冬 (全2回)
21	三館共同事業－コンサート事業	“音楽”という切り口から、美術館への新たな来館を促すとともに、美術・音楽・科学等、様々な文化の受容層の拡充を図る。	静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館の3館が共同して企画制作するコンサート。	春、夏
22	三館共同事業－講演会事業	音楽館、科学館、美術館が持つそれぞれの専門性を活かした総合的な文化発信のためのプログラムを開発することで文化に触れる機会を拡充し、市民の文化に対する理解を深める。	静岡音楽館、静岡科学館、静岡市美術館の3館が共同して企画制作する講演会。それぞれの専門分野を横断するカフェトーク。外部から招聘した講師と担当職員との対談スタイル。	各展覧会毎 (全2回)

(清水文化会館)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	清水にぎわい落語まつり	伝統芸能を気軽に鑑賞する機会を提供するとともに、施設の設置目的である清水駅周辺地域のにぎわい創出を図る。	マリナート、清水テルサ、駅周辺商店街と連携し、4日間にわたって駅周辺の施設や店舗などを活用した落語鑑賞事業を実施。	4月 (全8回)
2	ニコライ・ホジャイノフ ピアノリサイタル	優れた音楽芸術の鑑賞機会の提供 (質の高い事業の推進)	数々の国際ピアノコンクールで優秀な成績をおさめ、活躍する若手ロシア人ピアニストによるリサイタル	7月 (全1回)
3	劇団たんぽぽ 演劇公演	子どもたちが優れた舞台芸術に触れる機会の創出。	浜松に本拠を置く劇団による、子ども向け演劇公演。	8月 (全1回)
4	新沢としひこ&山野さと子ファミリーコンサート	子ども (未就学児) を対象に、音楽文化に触れる機会の提供	シンガーソングライターの新沢としひこと、童謡やアニメソングで活躍する山野さと子による子ども向けコンサート	8月 (全1回)
5	サンリオファミリーコンサート	子どもたちが優れた舞台芸術に触れる機会の創出。	サンリオのキャラクターのマスクプレイによるクラシックコンサート。	8月 (全1回)
6	田中靖人&白石光隆デュオコンサート	優れた音楽芸術の鑑賞機会の提供 (質の高い事業の推進)	日本を代表するサクソ奏者・田中靖人と、ピアニスト・白石光隆によるデュオコンサート	3月 (全1回)
7	ピアノコンサートシリーズ「静岡の名手たち」によるコンサート	優れた音楽芸術の鑑賞機会の提供 (質の高い事業の推進)、地域の芸術家の支援	静岡音楽館との連携事業。「静岡の名手たち」オーディション合格者による年6回のピアノコンサートシリーズ	奇数月 (全6回)
8	市美術収蔵品展	市が所蔵する平野富山作品の鑑賞機会を提供するとともに、貴重な静岡市所蔵の美術品の周知及び文化的な活用を行う。	清水文化会館のギャラリーロビーを会場とした、平野富山作品の展覧会。	通年 (全1回)

(静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業)

No.	事業名	事業目的	事業内容	実施時期
1	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業	音楽、科学、美術の境界を超え、総合的な文化空間を創造する。	展覧会に関連するコンサートや文化についてのさまざまな講演会など。	未定 (全1回)